

# 京 都 教 育 大 学 に お け る 租 税 教 育 に 関 す る 授 業

【各グループ作成指導案】

グループ (班)	選択事例	メンバー	ページ
1	事例 1	大菊 杉本 土井 中原 鍋島	1
2	事例 1	朝田 石田 猪本 合田 廣野	10
3	事例 1	今井 内海 大橋 川口 河原	18
4	事例 2	黒田 小林 齊藤 酒井 佐々木	25
5	事例 2	佐藤 高木 田中 谷口 永井	33
6	事例 2	中口 中島 中野 中原 中村	53
7	事例 3	中村 橋本 橋屋 八陣 濱	64
8	事例 3	濱田 福井 前川 前田 松本	71
9	事例 3	峯山 山口 山田 山本 和田	83
10	事例 3	浅原 新木 落合 坂口 寺田	86



令和6年10月24日(木) 31日(木)

## ○実施学年、教科など

- ・第3学年／社会科公民的分野（B 私たちと経済(2) 国民の経済と政府の役割）

## ○単元の目標

## 〈知識及び技能〉

・公共サービスの財源となる税に着目し、財政及び租税の意義や国民の納税の義務について理解できる。

・財政の歳入・歳出における内容や現状を具体的に引き上げ、租税の役割や私たちの生活との関連について理解できる。

## 〈思考力・判断力・表現力等〉

・財政や租税と私たちの生活との関わりを踏まえて、財源の確保と配分の観点から財政の現状や諸課題について多面的・多角的に考察し、表現できる。

## 〈学びに向かう力、人間性等〉

・国民の生活と政府の役割について関心を高め、少子高齢化における社会保障の充実・安定化、財源の確保などの諸課題を解決しようとする。

## ○単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
公共サービスの財源となる税に着目し、財政及び租税の意義や国民の納税の義務について理解している。 ・財政の歳入・歳出における内容や現状を具体的に引き上げ、租税の役割や私たちの生活との関連について理解している。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、財政や租税と私たちの生活との関わりを踏まえた、財源の確保と配分の観点から財政の現状や諸課題について多面的・多角的に考察し、表現している。	国民の生活と政府の役割について関心を高め、少子高齢化における社会保障の充実・安定化、財源の確保などの諸課題を主体的に解決しようとしている。

## ○指導計画（全5時間）

第1時 私たちの生活と税の役割〈本時〉

第2時 税の仕組みや種類と私たち

第3時 財政の働き、社会保障と国民の福祉

第4・5時 財政の現状と課題

○本時について

①本時の目標

- ・ 公共サービスの財源を賄う税金の役割や意義について理解できる。
- ・ 財政や租税に関する資料を読み取り、多面的・多角的に考察し、自分の立場の考えを表現できる。

②本時の展開（1/5 時間）

区分	学習活動と内容 ○教師の指示・発問 ・予想される生徒の反応 ■評価の観点と方法	指導上の留意点・支援・評価 (教師の活動)
導入 10分	<p><b>1. 身近にある税金について確認する。</b></p> <p>○うまい棒が最近何円になったか知っていますか。</p> <p>・ 12円 ・ 15円</p> <p>教師の購入した物のレシートから税抜と税込の値段の違いを考える。</p> <p>税について、現時点で知っているものやそれらの使い道について発表する。</p> <p>○そもそも税とは何でしょうか。知っている税金を発表してください。</p> <p>・ 消費税</p> <p>・ 所得税</p> <p>・ 自動車税</p> <p>○それらの税金はどのようにして使われているのか知っていますか。</p> <p>・ 医療費や年金などに使われる</p> <p>・ 公務員などの給料に使われる</p> <p>・ 国民の生活を良くするために使われる</p>	<p>・ うまい棒の値上がりという生徒にとって身近な話題を取り上げることによって、生徒が税をより意識できるようにする。</p> <p>・ 購入物のレシートを準備する。その際各家庭の購入物の話に広がり、生徒のプライバシーを侵害しないように注意する。</p> <p>・ 個々の税の具体的な概要については次時以降の授業で詳しく扱うため、現時点における理解度の共有に留める。</p> <p>・ 使い道などについても次時以降の授業で詳しく扱うため、現時点における理解の共有に留める。</p>

	<p>様々な税金を国に納めている現状から税金の必要性について考える。</p> <p>○税金は本当に必要だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高すぎるから必要ではない</li> <li>・国のためには必要</li> <li>・巡り巡って自分たちのために使われているから必要</li> </ul> <p><b>2. 本時の見通しの確認をする。</b></p> <p>提示された学習目標から本時で学習する内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">税金の必要性について話し合おう</div>	<p>日本において税金を納めている現状から、日本では税金が必要とされていることを念頭に置き、税金が必要、不必要の二極化にならないように気をつける。</p> <p>・学習目標を提示する。</p>
展開 30分	<p><b>3. 資料を読み取る。</b></p> <p>○まずは個々で資料を読み取り、根拠となる資料を基に、それぞれの立場の意見をワークシートに記入しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要派…社会保障や公共サービスが手薄になってしまふ。(資料2,4)</li> <li>・不必要派…無駄遣いされている現状がある。(資料5,8)</li> </ul> <p><b>4. 必要派と不必要派に分かれて討論する。</b></p> <p>○班内で同じ立場同士(ペア)で根拠の整理をしましょう。</p> <p>○個々とペアの活動を基に実際に班で討論しましょう。</p> <p>■財政や租税に関する資料を読み取り、多面的・多角的に考察し、自分の立場の考えを表現している (討論の様子・ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を配布する。</li> <li>・必要派と不必要派で偏りがでないように、班内で半々に分かれるよう指示する。</li> <li>・どの資料から得た根拠なのかワークシートに記入するよう指示する。</li> <li>・必要派と不必要派で交互に発言し、2 ラリーすることを指示し、全員が話せる機会を持たせる。</li> </ul>
まとめ 10分	<p><b>5. 自分の意見をまとめる。</b></p> <p>○討論を通して、討論の立場とは関係なく、税金が必要かどうか自分の意見をまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠を書くように指示する。</li> <li>・討論したときの立場と変わっても問題ないことを伝える。</li> </ul>



	<p>・それぞれワークシートに自分自身の意見を記入する</p> <p>■財政や租税に関する資料を読み取り、多面的・多角的に考察し、自分の立場の考えを表現している。</p> <p>(ワークシート)</p>	
--	---	--

## ③評価規準

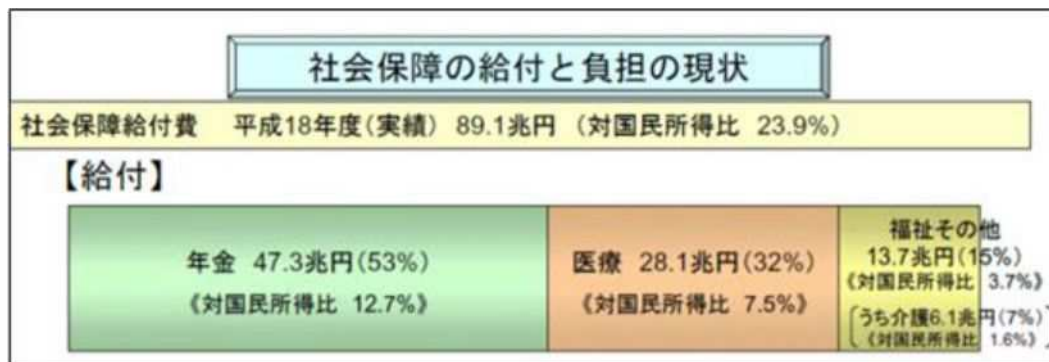
## 【知識・技能】

公共サービスの財源を賄う税金の役割や意義について理解している。

## 【思考力・判断力・表現力】

財政や租税に関する資料を読み取り、多面的・多角的に考察し、自分の立場の考えを表現している。

## 【資料 1】



## 【資料 2】



## 【資料 3】



## 【資料 4】

① 学校で勉強するために

公立学校に通う児童生徒 1人当たりの教育費

- ・ 小学校 : 約98万円
- ・ 中学校 : 約114万円
- ・ 高等学校 : 約133万円 (全日制)

③ 生活に必要な道路、洪水を防ぐ堤防などを整備するために

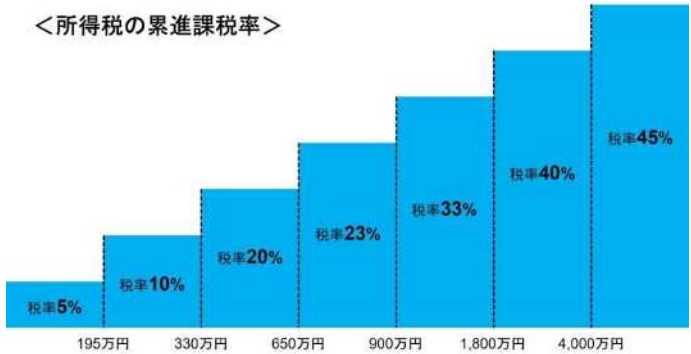
- ・ 18.4兆円
- ⇒ 国民 1人当たり約14.7万円

## 【資料5】

税金の“無駄遣い”コロナ対策では…

布マスク	支援金	GoToトラベル
保管費 約6億円	持続化給付金 不正受給 591件 約6億円	キャンセル対応費用 など 1157億円
換品作業 21億円超	雇用調整助成金 払いすぎなど 約13億円	ホテル 旅館 配分把握せず

【資料6】



【資料7】

累進課税制度のデメリット

累進課税制度では多く稼ぐと税負担が増えるので、人によっては「税金が高くならないように所得を減らそう」と考える場合があります。労働意欲の減退につながれば、経済の発展や社会全体にとってマイナスに働きます。また、所得や資産が多い人ほど税率が高くなる仕組みを不公平に感じる場合があります。「税率が低い海外に移住しよう」と考えた人が他に国に移住してしまうと、自国での税収減や人口減による経済・社会の衰退につながる恐れもあります。

【資料8】

税金の無駄遣い648億円指摘 会計検査院、23年度報告

2024/11/06 16:21



会計検査院は6日、官庁や政府出資法人を調べた2023年度の決算検査報告を石破茂首相に提出した。検査で税金の無駄遣いを指摘したり改善を求めたりしたのは全体で

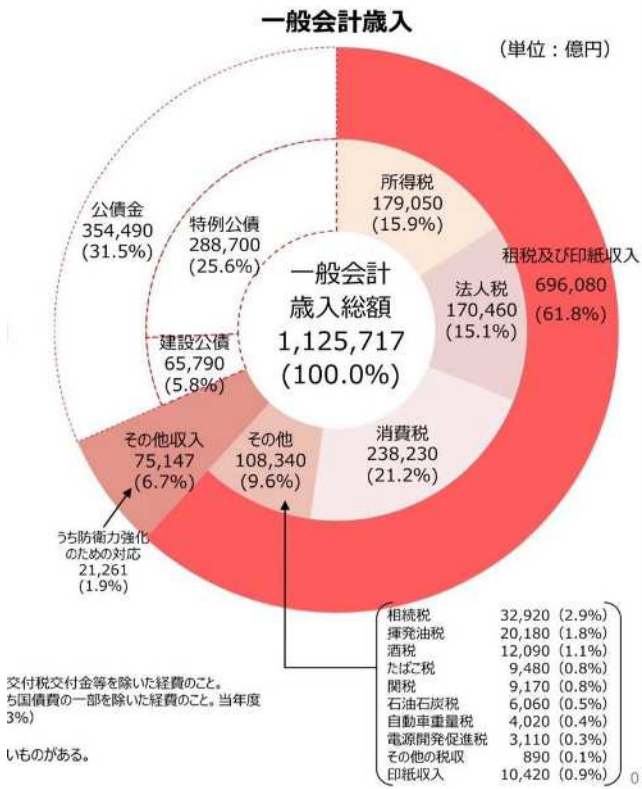
345件、総額約648億6千万円に上った。新型コロナウイルスと物価高騰の対策に関する政策に重点を置き、補助金や給付金事業での不備を指摘した他、国の補正予算で多額の繰越金があった状況も明らかにした。

検査報告では、法令違反や不適切な予算執行と認定した「不当事項」を計294件（指摘金額計約77億3千万円）挙げた。中小企業を支援する国の「IT導入補助金」での不正受給や、従業員の職業訓練などに必要な費用の一部を国が助成する「人材開発支援助成金」での不適切な支出などが確認された。

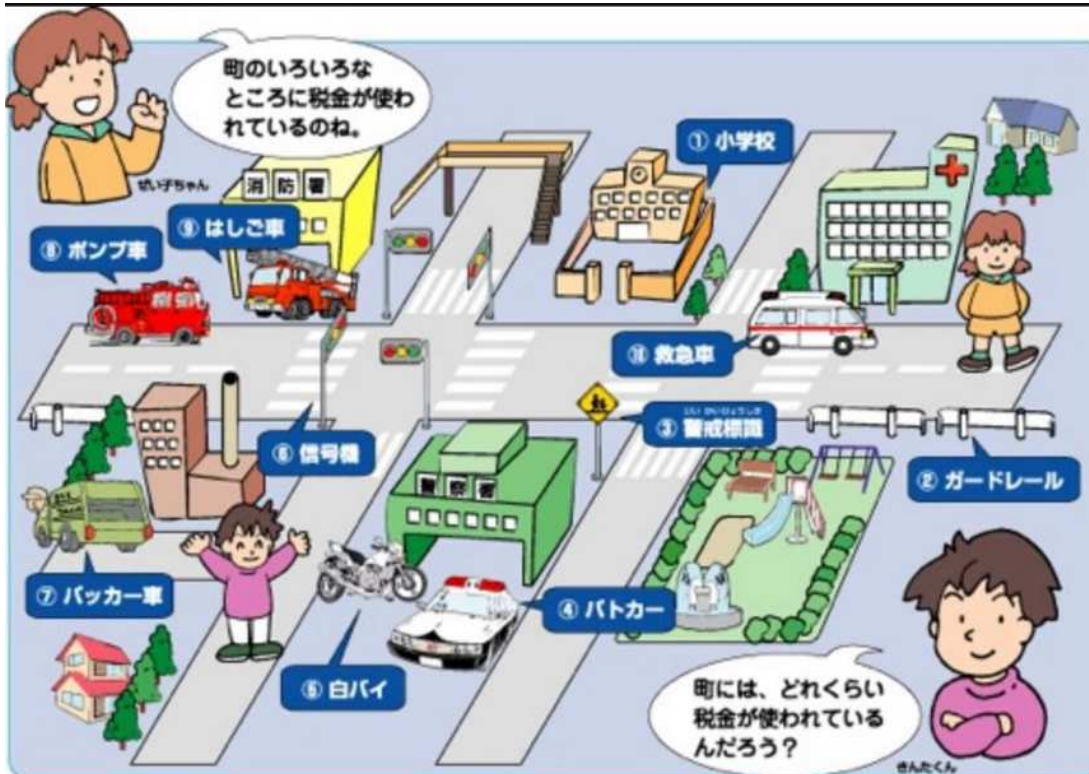


会計検査院＝東京・霞が関（共同通信）

【資料9】







【資料 11】

【資料 12】

## ドバイでは所得税・贈与税が存在しない

ドバイに居住する個人にとって大きな魅力の一つが、個人の所得税が完全に免除されている点です。

ドバイやUAEに居住する全ての個人が、自身の収入に対して所得税を支払う必要がないことを意味します。

この税制がドバイが世界中の専門家や高収入を得る人々にとって非常に魅力的な移住先となっている主な理由の一つです。

個人の財産に関する税金もなく、贈与税や相続税が免除されているため家族での移住にも理想的な環境が提供されています。

## 税金が安いメリット・デメリットとは？

税金が安ければ、商品の購入やサービスの利用で個人の税負担が少なくなります。また、シンガポールが採用しているように、税負担に悩みを抱えている海外の富裕層や企業を招き、国の発展を促すことも可能です。税金が安い国には、さまざまな理由があります。例えば、豊かな資源に恵まれているマレーシアは、消費税を廃止しました。消費税を廃止するにあたっては複雑な背景がありますが、それでも財政が破綻しないのは、豊富な原油・天然ガスによる収入による部分が大きいでしょう。

シンガポールは資源が少なく、日本よりも人口が少ないため、海外からの投資を得る必要があります。あえて税率を安くする戦略を取っています。カナダは、財政が安定しているからこそ、税金が安く済んでいる国の1つ。GST（連邦消費税）を導入したのは1989年、財政の健全化を図るためで、当時は7%の税率が課せられていました。2008年には財政健全化を実現し、GSTの税率を5%まで落としています。台湾の付加価値税が低い理由は、国全体に「社会保障に頼らず自立しよう」という文化が根付いているからです。

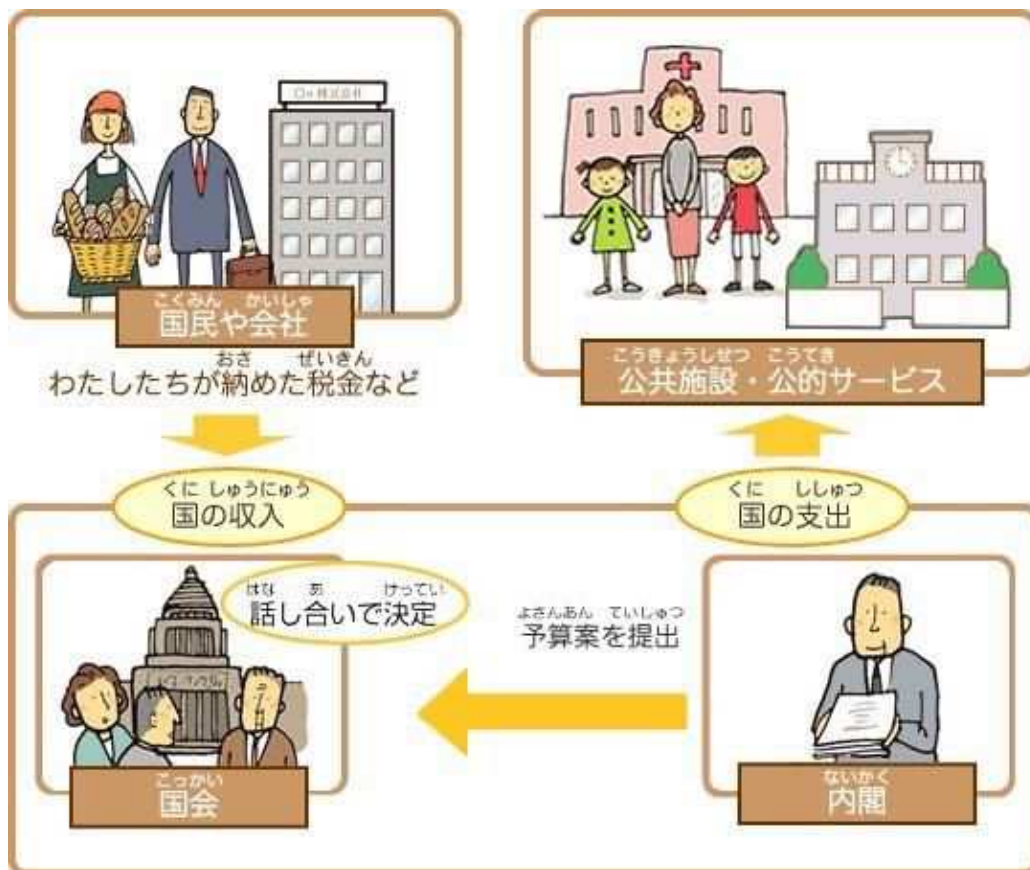
## 国税

- 年金や医療などの社会保障関係費
- 道路や住宅などを整備する公共事業関係費
- 教育や科学技術の研究などの文教及び科学振興費
- 国を防衛するための防衛関係費
- 海外援助などの経済協力費

## 地方税

- 高齢者や児童、障がい者などの社会福祉を充実させるための民生費
- 学校や文化振興のための教育費
- 道路や橋、住宅などを整備するための土木費
- ごみ処理や健康を守るための衛生費
- 戸籍など市役所運営にかかる総務費

【資料 14】



# 「私たちの生活と税の役割」

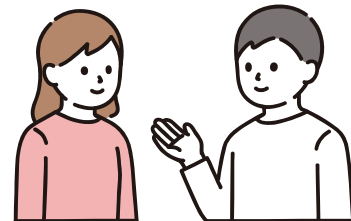
組 番

## 税って本当に私たちに必要？不必要？

✓ 討論する立場 私は\_\_\_\_\_派です

資料から得た根拠、メモ

✓ 必要派と不必要派に分かれて討論してみよう



✓ 討論を終えて

私はずばり\_\_\_\_\_派です！

理由や根拠

## 【中学校】事例1「私たちの生活と税の役割」

ポイント▶救急車の事例を参考に、公共サービスと税の在り方を考える授業例

## ○実施学年、教科など

- ・第3学年／社会科公民的分野（B 私たちと経済（2）国民の生活と政府の役割（ア（イ）、イ（イ）））

## ○単元の目標

- ・税の意義・役割を知り、仕組みを理解する。
- ・日本の財政の現状と課題、改善策について多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・財政に対する関心を高めて自分事として捉え、日本の財政の課題を解決しようとする。

## ○指導計画（5時間・各1時間）

【単元を貫く問い】持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。

第1時 私たちの生活と税の役割&lt;本時&gt;

第2時 税の仕組みや種類と私たち

第3時 財政の働き、社会保障と国民の福祉

第4・5時 財政の現状と課題

## 1 本時の目標

- ・他者の意見の存在を前提に、救急車の事例の議論に積極的に参加し、自分の考えを述べることができる。

## 2 本時の展開（1／5時間）

	主な発問／学習活動・学習内容、生徒の反応（※）	指導上の留意点
導入	<p>1、一日の生活の例を通して、公共サービスの種類を知る。</p> <p>○どれが公共サービスでしょう。</p> <p>・一日の生活の例を通して、自分たちの生活と税との関わりに気づき、税は自分たちの暮らしを支え、生活に欠かせないものであることを理解する。</p> <p>・朝起きる→顔を洗う（水道事業）→朝食を食べる→ごみを出す（ごみ収集）→学校の登下校（道路の維持管理）→市立図書館へ行く（図書館）→帰り道に人が倒れていたので救急車を呼ぶ（救急車）→帰宅</p> <p>1、本時の目標を知る。</p>	<p>・身近な生活場面から公共サービスを探すことにより、興味を持たせる。</p> <p>・公共サービスが身近なところでたくさん利用されているということに気付かせる。</p>
	<div>身近な生活と税との関わりを通して、公共サービスの在り方について考えよう。</div>	
展開	<p>【本時の学習課題】</p> <div>身近な生活と税の関りを通して、公共サービスのあり方について考えよう。</div>	

	<p>2 公共サービスについて知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共サービスとは実際にはどのようなサービスを指すのか、どのような仕組みで成り立っているのかなど、公共サービスの仕組みや実態についてより詳しく考える。</li> </ul> <p>3 公共サービスについて考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共サービスである「救急車」について、利用料金が無償・有料のどちらがよいのかについて資料を用いて考える。</li> </ul> <p>① 個人で考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有料派か無償派かを選択し、その自身の主張の根拠となる資料を用いて、自身の主張を固める。</li> <li>○救急車を1回呼ぶにつき、4万円近いコストがかかるため、有償にするべき</li> <li>○救急車を有料にしてしまうと、お金を気にして呼びにくくなるため、無償がよい。</li> </ul> <p>② グループで意見を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①で固めた主張をもとに、グループで意見を交流し、話し合った内容をまとめる。</li> </ul> <p>③ グループごとに全体発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに意見交流の内容を発表し、クラス全体で議論する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入で行った公共サービスクイズの内容を補足するように説明する。 (例) 顔を洗う→水道事業</li> <li>・救急車の有料化が始まった地域の例を挙げ、救急車が無償のものであるという認識を変えるように働きかける。</li> <li>・資料1～6について、それぞれの資料がどのような内容を表しているのか、補足で説明しながら提示していく。</li> <li>・他のグループの意見等と関連させながら、生徒の考えを深めるような問いかけや声掛けを行う。</li> </ul>
まとめ	<p>4 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を通して、深まったり変化したりした考えや、感想等をワークシートにまとめる。</li> </ul>	

## ○評価規準

## 【思考・判断・表現】

- ・救急車の事例を通して、公共サービスの在り方について多面的・多角的に考察し、考えることができる。  
(ワークシートの記述より)



○ワークシート

私たちの生活と税の役割

年 組 番 名前

【目標】身近な生活と税の関りを通して、公共サービスの在り方について考えよう。

『救急車は有料にするべきか、無償にするべきか』

有料派 無償派

(自分が担当する方を丸で囲んでください。)

○主張、根拠となる資料番号

資料番号	主張

○深まったり、変化したりした考えなど、授業を通しての感想

○資料

資料 1

高齢者救急の救急  
搬送の増加問題と  
その対応策

表 3 救急車 1 回出動の経費

平成 23 年度

救急出場件数 57,365 件 総コスト 24 億 3,794 万 3,371 円  
1 件単位あたり 42,425 円 さいたま市のホームページ

平成 18 年度

出場一回当たり約 40,000 円 横浜市消防局

平成 16 年度

救急出場件数 63 万件 総コスト 286 億円  
1 件単位あたり約 45,400 円 東京消防庁

## 資料 2

# 救急要請したが 「不搬送」になった例

■ 仕事に出たゴキブリを見て驚き、不安になった

■ 来店した客が注文もせずに寝込んでしまい、起こそうと呼びかけても起きない

■ 母が便座に座ったまま動かないのでベッドに移動させてほしい

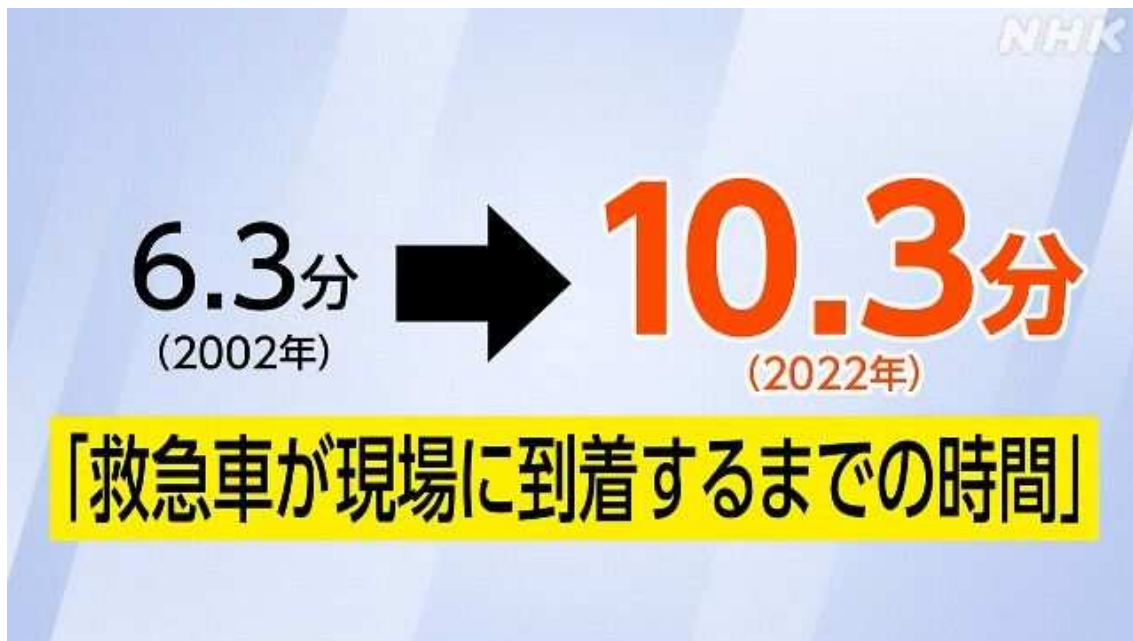
■ 午前中に診察予定だったが寝坊した



※大阪市消防局の記録より

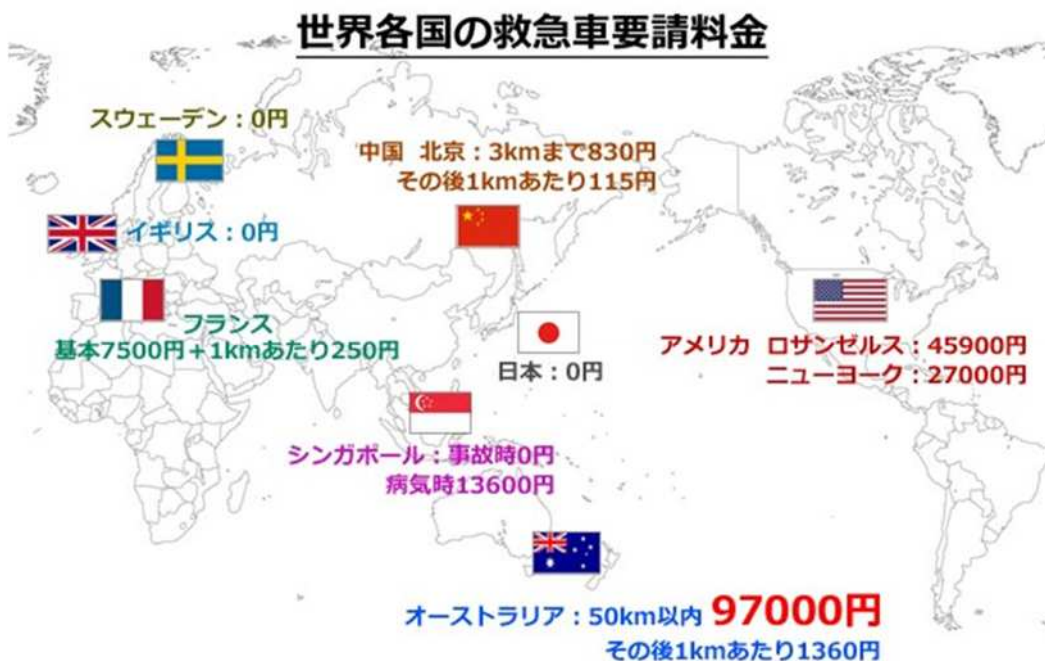
呼んだのに「もうええわ」  
…救急車の不搬送 2  
割！ 全国で突出する  
大阪市 「ゴキブリこわ  
い」で119も (1/3 ペ  
ージ) - 産経ニュース

資料 3



助かる命が助からなくなる… “救急車呼んだら 7700 円”の背景 三重県松阪市 「選定療養費」とは？ | NHK | WEB 特集 | 医療・健康

#### 資料 4



#### 世界各国の救急車を呼ぶ料金

#### 資料 5

## (2) 救急通報を迷ったことの有無

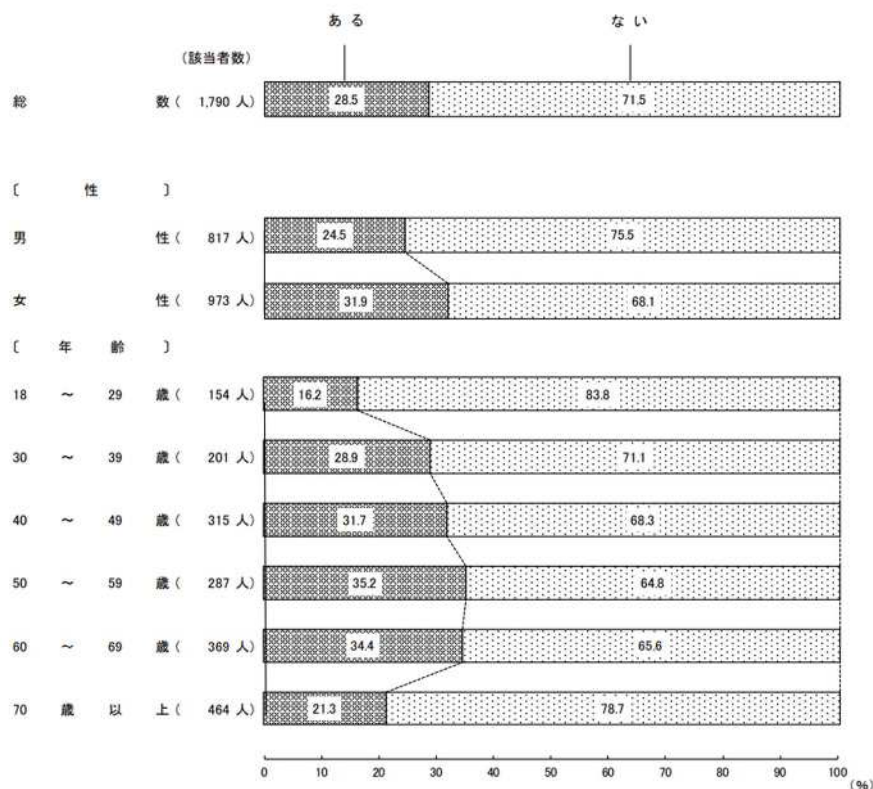
問3 あなたやあなたの家族が急な病気やけがで、救急車を呼ぶか、呼ばないか迷ったことがありますか。

- ・ある
- ・ない

29 年 7 月

28.5%

71.5%



[gairyaku.pdf](#)

内閣府「救急に関する世論調査の概要」

資料 6



## 慶応大学病院の事例

「頭痛を主訴に救急車を要請し、救急外来に搬送された患者は334人、（中略）くも膜下出血の搬送件数は血管障害に伴う頭痛の過半数以上を占め、  
頭痛全搬送件数の8%であった」

日本頭痛学会誌2001年

つまり・・・



全国救急指定病院 3 6 8 9 施設を合わせると  
約 1 万人もの人が現状（無料）によって  
助かっている！

## 【中学校】事例1「私たちの生活と税の役割」

ポイント⇒身近な税の使われ方を例に、義務教育の無償化を賄う税の役割を考える授業例

## ○実施学年、教科など

- ・第3学年/社会科公民的分野（B 私たちと経済(2)国民の生活と政府の役割(ア(イ)、イ(イ))

## ○単元の目標

- ・租税の役割について、主権者として関心を持ち、より良い社会を目指すための制度の在り方を考察する。
  - ・租税教育を通して、税金の役割を理解することができるようにする。【知識・理解】
  - ・税金の使い道を選択・判断し、他者に説明できるようにする。【思考力・判断力・表現力等】
  - ・現代に見られる税の課題解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

## ○指導計画

【単元を貫く問い】持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。

## 第1時 私たちの生活と税の役割&lt;本時&gt;

## 第2時 税の仕組みや種類と私たち&lt;事例2&gt;

## 第3時 財政の働き、社会保障と国民の福祉

## 第4・5時 財政の現状と課題&lt;事例3&gt;

## 1. 本時の目標

- ・話し合いや資料を読み取る活動を通して、租税の役割・必要性について考える。【思考・判断・表現等】

## 2. 本時の展開（1/5時間目）

時間	学習活動・学習内容	◇指導上の留意点 ・準備物
導入 5分	1. 身近な税の例や税の使い方生徒の興味を引く。 ○税金はどこに使われているだろうか。 ・クイズを通して税金の使い道を知る。 2. 本時の見通しの確認 ・ワークシートを配布し、本時の学習課題を確認する。	・授業用スライド   ・ワークシート
展開 5分	義務教育の無償は賛成か、反対か？ 3. 税の役割について知る。 ○義務教育の無償は賛成か反対かについての議論をする前に、あなたはどのような意見を持ちますか。 ・生徒に挙手で立場を決めてもらい、指名して意見を聞く。 ⇒賛成派：子供の養育費の負担が減る。 反対派：国の財政負担が大きい、教育の質が低下する。	◇自分の意見があれば立場をはっきり決めなくてもよい。
10分	4. 配布資料を読み、義務教育の無償に反対か、賛成かの意見を持つ。ワークシートに書き込む。 ・資料を配布する。 ・個人で取り組む。	・授業用資料（データ） ◇反対派の意見がイメージしにくい ため、「義務教育の無償化はみんなにとって良い？悪い？」と問いかける。
10分	5. 「義務教育の無償は賛成か、反対か」について議論する。	

分	<p>○グループで意見を共有する。</p> <p>・グループで賛成派と反対派の意見を聞き合う。</p>	
10分	<p>○全体で議論する。</p> <p>・賛成派と反対派で挙手をさせ、交互に指名し議論する。</p> <p>⇒賛成派：子育ては学費以外に必要な費用が多くあり保護者の負担が大きいため、義務教育無償化に賛成する。</p> <p>反対派：無償化の経費は結局公費で賄われているため、国の負担が大きい。</p> <p>賛成派：日本国憲法に明記されているように、教育への平等なアクセスが実現できる。</p> <p>反対派：無償化によって、教育の質の低下が懸念される。</p> <p>・・・・・・・・・・。</p>	<p>・意見が分かれなかった場合、教員は少数派の立場に立ち議論に参加する。</p>
まとめ5分	<p>6. 義務教育の無償は賛成か反対かについて自分の意見をワークシートにまとめる。</p> <p>⇒私は義務教育の無償化に反対している。理由は・・・・。</p>	<p>話し合いや資料を読み取る活動を通して、租税の役割・必要性について考えることができる。(思考判断表現・ワークシート)</p>

### 3. 評価規準

【思考・判断・表現】話し合いや資料を読み取る活動を通して、租税の役割・必要性について考えることができる。(ワークシート)

#### 4. 教材・資料

—授業用スライド—

3班  
「私たちの生活と税の役割」

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

内訳	金額(兆円)	割合
社会保険料	12,657.7	34.2%
国防費	4,265.7	12.6%
教育・文化・スポーツ・科学技術費	4,265.7	12.6%
経済産業費	3,657.7	10.2%
国土交通・建設費	3,657.7	10.2%
環境・エネルギー・気候変動対策費	3,657.7	10.2%
農林水産・食料・農村政策費	3,657.7	10.2%
外務・国際協力費	3,657.7	10.2%
内閣府費	3,657.7	10.2%
総務費	3,657.7	10.2%
地方交付金	3,657.7	10.2%
その他	3,657.7	10.2%

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)

国の一般会計歳出額 内訳(令和6年度当初予算)



## 一授業資料一

## 資料編

## 資料1

- 第十三条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。
- 第十四条 すべて国民は、法律の下に平等であつて、人種、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。
- 1 華族その他の階級は、これを認めない。
- 2 宗族、親類その他の氏名の使用は、いかなる特権も附しない。氏名の使用は、又はこれを受ける者の一に限り、その效力を有する。
- 第十五条 思想及び良心の自由は、これを侵してはならない。
- 第十六条 信教の自由は、個人に対してこれを保障する。いかなる宗教団体も、国から特権を受け、又は政治上の権力を行使してはならない。
- 2 何人も、宗教上の行為、祝典、儀式又は行事に参加することを強制されない。
- 3 国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない。
- 第二十三条 学問の自由は、これを保障する。
- 第二十六条 すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。
- 2 すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。
- 第八十九条 公共その他の公益の増進は、市町村の権限としは法律の定め、便宜としは維持のため、又は公益の増進に關しない教育、教育費としは増進の事業に關し、これを支出し、又はその利用に供してはならない。

・日本国憲法（永文改訂）[日本国憲法（永文改訂）](#)・文部科学省

## 資料2

税って何に使われているの？  
身近な税の使いみち～教育費～



わたしたちが通っている学校にも税金が使われています。  
身近なものから、何のためのものかなど、どんなものに使われているのか調べてみましょう。

④ どんなところに税金は使われているのでしょうか。

学習に必要なもの



公立の小・中学校の場合、教科書や教室にあるパソコン、実験器具や体育用具などに税金が使われています。  
また、私立の学校にも「[補助金](#)」というかたちで、税金が使われています。

・[税って何に使われているの？ | 身近な税の使いみち～教育費～ | 税の学習コーナー | 国税庁](#)

## 資料3

ちなみに教育費の内訳は『学校教育費』『学校給食費』『学校外活動費』となっており、このうち『学校教育費』は学内教育のために家庭から支出した経費、『学校外活動費』は塾や習い事など費用を振します。

	幼稚園	小学校	中学校	高校	大学*	合 計
平均 値（公立学校）	¥47万円	¥211万円	¥162万円	¥154万円	¥423万円	¥997万円
平均 値（私立学校）	¥92万円	¥1,000万円	¥430万円	¥316万円	¥619万円	¥2,457万円

※ 大学＝国公立・文部系、私立・文系、どちらでも自宅通学

【出典】幼稚園から高校まで文部科学省「令和3年度子供の学習費調査」、大学については独立行政法人 日本学生支援機構「令和2年度学生生活調査結果」、文部科学省「令和5年度私立大学等入学率に係る初年度 学生納付金平均額の調査結果について」

＊冒頭ですべて私立に通った場合の教育費の目安は2,000万円以上とお伝えしたが、それはあくまで【私立大学・文系】を例として計算した場合、私立系面系などを選択した場合はかなり高額な教育費が必要になる。

・ステージごとの平均教育費教育費は平均いくら？幼稚園から大学までに準備するべき金額とは・学習保障の豆知識

## 資料4

項目	県民府民内費例
衣類・履物・被服費	着衣費、寝間着、靴、防寒具などの費用
食費	給食費、給食費、おやつ、家庭内での食事や外出にかかる材料費のほか、外食費など
生活用品費	おむつや紙おむつ、文房具など生活で使用する消耗品、お菓子や飲み物の費用、CD、DVDの費用、おもちゃ、ゲーム機、子ども用家具・家電、図書など
医療費	予防接種・検診、疾病時に医療、医療機関窓口で支払った額、治療費、医薬品など
保育費	保育所、幼稚園などの入園初期費用、入園準備費、月々の保育料、給食費、行事・教材費、一時保育料や学童保育費など
学校教育費	小学校以降の入学初年度費用、修業料、寄付金、学校給食費、学校費、課外クラブ活動費、修学旅行費、制服・通学用品費、学校給付金、文庫券など費財にかかると費用
学校外教育費	家庭内で学習するドリル代、学習器費、家庭教師料など学校外学習をする際にかかる費用
学校外活動費	学習費以外の習い・課の月費、用具・用品費など学習以外の学校外活動にかかる費用

子どもの 教育費別金	基本料・通学・バイト料など
おこづかい	資料として子どもに渡す現金で、子どもが自由に使い道を決められるものを指す
お祝い行事 関係費	お祝い行事関係費、お祝い行事関係費、お祝い行事関係費、お祝い行事関係費
子どものための 雑費金・保険	子どものための雑費金、子どものための雑費金、子どものための雑費金、子どものための雑費金
レジャー・旅行費	子どものレジャー・旅行費、子どものレジャー・旅行費、子どものレジャー・旅行費、子どものレジャー・旅行費

（出典）内閣府政策経費（民生社会政策経費）「インターネットによる子育て費用に関する調査報告書」

・子育て費用に関する調査 子育てに必要な費用ってどれくらい？0歳～22歳までの合計金額とは | Like U | 子育て友会

## 資料5

小学生にかかる年間の子育て費用

小学生		
子育て費用平均額（1年あたり）	115万3,541円	
1位 食費	27万8,294円	
2位 レジャー・旅行費	16万7,044円	
3位 子どものための預貯金・保険	16万3,037円	
4位 学校外教育費	10万6,089円	
5位 学校教育費	10万5,242円	
6位 学校外活動費	9万4,985円	
7位 生活用品費	8万3,419円	
8位 衣類・服飾雑貨費	6万8,970円	
9位 お祝い行事関係費	3万1,974円	
10位 医療費	2万1,791円	
11位 保育費	1万9,268円	
12位 おこづかい	9,605円	
13位 子どもの携帯電話料金	3,823円	

※表内の値はすべて平均値です。

※表内の合計値＝子育て費用平均額（1年あたり）ではありません。

中学校にかかる年間の子育て費用

中学生		
子育て費用平均額（1年あたり）	155万5,567円	
1位 食費	35万6,663円	
2位 学校教育費	27万4,109円	
3位 学校外教育費	24万8,556円	
4位 子どものための預貯金・保険	17万9,910円	
5位 レジャー・旅行費	14万6,710円	
6位 生活用品費	9万7,139円	
7位 衣類・服飾雑貨費	7万6,507円	
8位 学校外活動費	5万7,337円	
9位 おこづかい	3万9,022円	
10位 お祝い行事関係費	3万3,539円	
11位 子どもの携帯電話料金	2万3,453円	
12位 医療費	2万2,624円	
一 保育費	—	

※表内の値はすべて平均値です。

※表内の合計値＝子育て費用平均額（1年あたり）ではありません。

[子育てに必要な費用ってどれくらい？0歳～22歳までの合計金額とは | Like U | 子育て友会](#)

## 資料 6



と考える傾向にある」（『毎日新聞』（平22.9.13））こと、「子どもにかかる教育費は増えない」と答える親が7割にも及ぶ（NHK放送文化研究所「厳しい将来に備えを——勉強を重視する親たち——中学生・高校生の生活と意識調査2012」から②～）ことなど、親の子どもに対する教育への関心の高まりがあると考えられる。例えば、学習塾費は1994年から2016年の間で公立中学校では約5.7万円、私立高等学校では約5.3万円増加しており（文部科学省「子供の学習費調査」）、私立中学校に在学する生徒の割合は2.9%から7.2%へと上昇している（文部科学省「文部科学統計要覧」）。このように、家計は教育費の削減に対して消極的であるように思われる。



政府は国公立を問わず、一部の高所得世帯を除くすべての世帯に授業料に相当する一律の額を支給する高校授業料無償化や、住民税非課税世帯などの生徒に対して、返還義務の無い奨学金を支給する給付型奨学金の制度を実施している。2019年10月からは幼児教育無償化を全面的に実施する方針を固め、①3～5歳の保育園・幼稚園・認定こども園の無償化、②認可外保育サービスへ上限3.7万円の補助等を行うこととしている。給付型奨学金と幼児教育無償化については、『経済財政運営と改革の基本方針2018』（2018.6.15閣議決定）の中で、力強い経済成長の実現に向けた政策の1つに上げられ、政府は最優先で取り組む姿勢をみせている。こうした政策が家計の教育費の負担に与える影響をみるのか、今後の動向に注目したい。

（企画調整室 鈴木菜月 内藤 75025）

—家計の消費構造の変化—子どもの減少と相反する一人あたり教育費の増加 201817005.pdf

## 資料 7

## 1. 義務教育費負担の現状

## (1) 義務教育無償の原則

義務教育は憲法の規定により無償でなければならない。したがって、義務教育費は高校や大学のように授業料により受益者負担に転嫁することができず、原則として全ての経費を公費で賄わなければならない。

## (2) 市町村・都道府県・国の負担関係

小・中学校に係る経費の全てを市町村に負わせることは市町村の財政力にとって過重となるため、市町村立小中学校の基幹的な教職員の給与費と旅費については都道府県に負担義務を課す「県費負担教職員制度」が設けられている。その上で、都道府県が負担する義務教育諸学校の基幹的職員の給料・諸手当に係る経費については、国がその2分の1の負担義務を負う「義務教育費国庫負担制度」が設けられている。義務教育にかかる経費の総額約10兆円の義務教育費負担のうち、国・都道府県・市町村の負担割合は概ね3：4：3であり、国と都道府県の負担する経費の大部分が人員費である（平成12(2000)年度）。

## (3) 児童生徒1人当たりの義務教育費

教育の機会均等を実質的に保障するためには、小規模な学校ほど児童生徒数に比して手厚い教員配置が必要になるため、へき地・離島などを抱える小規模学校の多い地方ほど、児童生徒1人当たりの義務教育費国庫負担金は多くなる。

・「義務教育費に係る経費負担の在り方について」（中間報告）の概要 [義務教育費に係る経費負担の在り方について](#)

## 資料 8

## 教育無償化 高等教育の無償化は「天下の愚策」である 米山隆一氏

2017/11/5 17:00

オピニオン | コラム

&lt;&lt; &lt; 1/2ページ &gt; &gt;&gt;

記事を保存



建設DXで実現する業務効率化とBCP対策



米山隆一氏

安倍政権が選挙公約に掲げた教育無償化の議論がスタートした。高等教育に加え、幼児教育の無償化も議論の対象となったが、聞こえがよい政策には賛否も渦巻く。「大学全入時代」の今、誰もがタダで行ける制度など本当に必要なのか。(iRONNA)



今回の衆院選では政党の離合集散が大きな話題を集め、政策論争はいつの間にか忘れ去られてしまいました。しかし、そもそもの解散の理由が消費税増税分の教育目的への転換とされ、ここにきて安倍晋三首相も私立高校無償化の検討を表明しました。

まず、極めて当然のことですが、仮に何のコストを払うことなく教育を無償化できるなら、それに反対する人はいません。しかし、そんな魔法のような話はないわけで、教育に限らず、「〇〇無償化」のコストはもちろん、税金から支払われます。したがって、教育無償化の是非は、教育を受ける本人ではなく、「税金」という形で社会全体が負担すべきか否かで決せられるということになります。

現在、わが国においては、義務教育である公立の小学校、中学校は無償化されています。誰もが共通の基本教育を受けることで、国民全体の能力が高まり、社会全体が利益を受けることになるので、これに異論のある人はほとんどいないものと思います。

ただ、日本の税収（国税）は毎年ほぼ50兆円です。変えずに増える見込みはありませんから、教育を無償化するには、他の用途に使われていた税金を教育無償化に使うか、増税するか二つに一つしかありません。

## | タダより高いものは…

かつて日本には、「教育無償化」ならぬ「老人医療費無料」という政策がありました。昭和48年、高度成長によって毎年伸びる税収を背景に、当時の田中角栄内閣が70歳以上の医療費を無料にしたのです。

しかし、「無償」の効果は絶大でした。何せ「タダ」です。70歳以上の高齢者は、それこそかすり傷一つどころか、「日々の健康診断」という感覚で病院を受診し、病院が高齢者のサロンと化したのです。結果は、高齢者医療費の急激な増大とそれによる保険財政の逼迫であり、これに耐えられなくなることを危惧した大蔵省（現財務省）が主導して、老人医療費無料という政策は、わずか10年で幕を閉じることとなったのです。

つまり、老人医療費無料、教育の無償化に限らず、「〇〇無償化」という政策は、それ自体によって、それまで存在していなかった需要、しかも本来なら必要とはいえなかった需要を引き起こしてしまう可能性があるのです。

主に日本維新の会が提唱している高等教育（大学）無償化を例にとって考えましょう。現在日本の大学進学率は54%で、その無償化に必要な額は約4兆円といわれています。

しかし、無償となれば、この大学進学率が80%近くまで跳ね上がることは容易に予想されます。その過程で現在の大学のみならず、さまざまな事業者が高等教育に参入し、現在大学に行っていない学生たちのニーズに応えようとするでしょう。

しかも、大学進学率54%の現在でさえ、率直に言って、九九やアルファベットを授業で教えている大学が存在します。教育無償化によって、「高等教育」とは名ばかりのモラトリアム享受機関になることもまた、相当程度の確率で予想されます。

## | 多元方程式

要するに、教育の無償化は次のような多元方程式を解かなければならない、極めて複雑な問題だといえるでしょう。（1）幼児教育、高校教育、大学教育、大学院教育、社会人教育のどの教育を無償化するのか（2）その教育の無償化は全員が受けるものか、内容が公的に決まっているものか、社会全体が利益を得るものか（3）その財源はどうやって確保するのか（4）仮に（1）～（3）がクリアされたとしても、教育の無償化それ自体によって、議論の前提が変わってしまうのではないか。

【iRONNA発】教育無償化 高等教育の無償化は「天下の愚策」である 米山隆一氏（1/2ページ） - 産経ニュース

ーワークシートー

組 氏名

私たちの生活と税の役割 **「税の役割」について考えよう****めあて 義務教育の無償は賛成か？反対か？**

○今回のテーマを議論する前のあなたの立場は？

義務教育の無償は **賛成・反対**

○義務教育の無償は賛成か？反対か？についてあなたの立場を裏付ける資料を読み取ろう。

☐ 義務教育の無償は賛成であるの主張

資料番号	主張・内容

☐ 義務教育の無償は反対であるの主張

資料番号	主張・内容

○議論を終えての、あなたの立場は？ 義務教育の無償は **賛成・反対**

【理由】


メンバー

今井悠雅      内海迅人      大橋星太      川口恵大      河原萌加

## 【中学校】事例2「税の仕組みや種類と私たち」

ポイント➤ 身近な例を通して、税の使いみちを理解するとともに、一律課税と累進課税を組み合わせることで、公平な税制度が成り立っていることに気付くことができる。

### ○実施学年、教科など

- ・ 第3学年／社会科公民的分野(B 私たちと経済 (2)国民の生活と政府の役割(ア(イ)、イ(イ)))

### ○単元の目標

- ・ 税の使いみちについて、項目やカテゴリーなどに整理してまとめる等、相互関係を整理してまとめる活動を通して、財政及び租税の意義と役割、国民の納税の義務について理解する。
- ・ 公正・持続可能性などに着目して、政府の役割や財政の在り方について考察・構想し、表現する。
- ・ 社会の一員(税の負担者)として、税の使いみちなど国・地方公共団体の経済活動(財政)に関心をもち、シミュレーションを通して、それぞれの立場に配慮し、公平な社会の在り方について多面的・多角的に考えようとする。

### ○指導計画(5時間・各1時間)

【単元を貫く問い】持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。

第1時 私たちの生活と税の役割<事例1>

**第2時 税の仕組みや種類と私たち<本時>**

第3時 財政の働き、社会保障と国民の福祉

第4・5時 財政の現状と課題<事例3>

### 1 本時の目標

- ・ 身近な例を通して、税金が一律課税、累進課税の組み合わせによって集められていることを理解する。
- ・ 事例を踏まえて、公平な税制度の仕組みについて自分のことばで表現する。

### 2 本時の展開(2/5時間)



	主な発問／学習活動・学習内容、生徒の反応(※)	指導上の留意点
(10分) 導入	<p>1. 前回の復習をする。 前回使った表や活動を見ながら振り返る。</p> <p>2. 今日の問いを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">           公平な税制度はどのような仕組みで成り立っているのだろうか         </div> <p>3. 公立と私立の入場料の違いを考える。 動物園と水族館の例を提示し、共通点と相違点を考える。 (2) 周りの人と話し合う (2) 発表 <b>(※)私立の方が高い</b> <b>(※)公立の料金区分は少ないが私立は細かく料金が決められている。例えば、年齢や曜日、時期など</b></p> <p>4. 税金の使い道について知る。 京都市動物園の施設運営に関する資料を提示し、施設運営においての税金の使い道を理解する。</p> <p>5. 税金のその他の使い道を考える (3) 個人 (3) 周りの人と共有 (3) 発表 <b>(※)道路などの公共の物の整備</b> <b>(※)議員や公務員の給料</b> <b>(※)警察や救急車</b> <b>(※)教育費や医療費</b></p>	<p>・前回学んだことと関連付けられるようにする。</p> <p>・グラフを提示する。</p> <p>・机間指導を行いながら生徒たちが気づけているか確認する。</p> <p>・より細かいところの違いに気付けるように質問する。</p> <p>・資料を指さしながら説明する。</p> <p>・資料以外の税金の使い道が出</p>

		るように 机間指 導を行 う。
展開 (30分)	<p>6. 税金をどのようにして集めたら公平か考える。 ○みんなで使う税金、どうやって集めたら公平だろうか？ (3) 個人で考える。 (3) 周りの人と話し合う。 (3) 全体で交流を行う。 <b>(※) みんなで使うのだから、みんなから一律に集めるのが公平である。</b></p> <p>7. 一律に課税される税金について理解する。 消費税と入湯税を例に一律に課税される税金について理解する。</p> <p>8. 一律に課税される税金はどの人にも公平なものなのか考える。 一律に課税される税金が必ずしも公平であるわけではないということについて理解する。 ○一律に課税される税金はどの人にも公平なものなのだろうか。2つの事例から考えよう。 事例1では、年収が違うのに、支払う消費税が同じであるのは、公平であるのか？について考える。 事例2では、車を乗っている人だけから自動車税を徴収するのは公平なのか？について考える。 (3) 個人で考える。 (3) 周りの人と話し合う。 (3) 全体で交流を行う。 <b>(※) 事例1では、収入の低い人の方が収入に対しての税金の割合が高いため、しんどい思いをしているため公平ではない。</b> <b>(※) 事例1では、収入に関係なく二人とも平等に税金を納めている点で、公平である。</b> <b>(※) 事例2については、車を運転する人等の道路をよく使う人が多く負担してもいいのではないかと考える。</b> <b>(※) 事例2については、道路はみんなの使うものなので、みんなから納められた税金から賄われるべきであると考え。</b></p> <p>9. 消費税の逆進性について理解する。 グラフと教員の説明から消費税の逆進性について理解し、一律に課税される税金の抱える問題について理解する。</p> <p>10. 一律に課税されない税(累進課税、自動車税)について理解する。 累進課税と自動車税から、一律に課税されない税にはどのようなものがあり、どのようなためにあるのか理解する。そして、税金には役割ごとに50種類あることを理解する。</p>	<p>・机間指導を行い、つまずいている生徒・グループがいなければ確認し、助言を行う。</p> <p>・具体例を示しながら、説明を行うようにする。</p> <p>・事例ごとに、状況の説明を最初に行うことで、身近な例として捉えられるようにする。</p> <p>・机間指導を行い、話し合いが活性化す</p>



		<p>るように声をかけを行う。同時に、生徒の中にある意見の中で共有したいものを探す。</p> <p>・所得別の消費税負担率のグラフを用いて説明を行う。</p>
まとめ (10分)	<p>11. 今日の問い「公平な税制度はどのような仕組みで成り立っているのだろうか」について習ったことをふまえて答える。</p> <p>(1) ワークシートの「公平な税制度はどのようなしくみで成り立っているのか、自分なりにまとめてみよう。」に記入する。</p>	

### 3 評価規準

#### 【知識・技能】

・現在の日本では、一律課税や累進課税といった仕組みを導入することで、公平な税制度を実現していることを理解している。

#### 【思考・判断・表現】

・事例を踏まえて、公平な税制度の仕組みについて自分のことばで表現できている。

## 「私たちの生活と税の役割」

### 今日の問い

公平な税制度はどのような仕組みで成り立っているのだろうか



大人（中学生以上）	2,200 円
小学生	1,200 円
幼児（4歳・5歳）	500 円
シルバー（満65歳以上）	1,600 円

※全て税込価格です。



一般	750 円
中学生以下	無料
年間（一般）	2200 円



#### 入館料

大人600円、小・中学生250円



	大人 (高校生・16歳以上)	子ども (小・中学生)
A	2,700 円	1,400 円
B	2,900 円	1,500 円
C	3,200 円	1,650 円
D	3,500 円	1,800 円

### 市立動物園・水族館は入場料が安い

Q. なぜこんなにも入場料が違うのだろうか？



#### 施設運営に関する支出・収入（概数）

<支出：991 円（総額約 6.8 億円）>

改札委託、 清掃費等 159 円	光熱水費、動物 のエサ代 250 円	職員人件費 551 円	維持 改修費 31 円
------------------------	--------------------------	----------------	-------------------

<収入：479 円（総額約 3.3 億円）>

寄付金等 78 円	入園料等 401 円	差額 512 円 市民の皆様からの税金を活用
--------------	---------------	---------------------------

公立（県立・私立）の施設は住民の暮らしを向上させることを目的として、運営費の一部を税金で賄っている。

他にはどんなところに税金が使われているのだろう？



## 一律に課税される税金の例

### ①消費税

商品の販売やサービスの提供などの取引に対して広く公平に課税される税

※標準税率 10%

### ②入湯税

鉱泉浴場における入湯に対し、入湯客に課す地方税

※標準税率 1日150円

みんなで使う税金…  
どうやって集めたら公平だろう？

## 2つの事例から考えてみよう

But

一律に課税される税金はどの人にも公平であると言えるのか…？

### 事例1

年収が違うのに、支払う消費税が同じであるのは、公平？不公平？

### 事例2

車を持っている人だけから自動車税を徴収するのは、公平？不公平？

## 事例 1

年収1,000万円のAさんと年収200万円のBさん。  
100万円の車を買ったとき、同額の消費税を支払わなければならない。公平？不公平？



Aさん  
(年収1000万円)



Bさん  
(年収200万円)

## 事例 2

車を持っていないAさんと車を持っているBさん。  
Bさんは毎年自動車税を支払わなければならない。  
公平？不公平？



Aさん



Bさん



消費税は収入が多い人、  
少ない人にも 同じ税率  
で課税

結果:所得の低い人の方  
が、所得に占める税負担  
の割合が増える

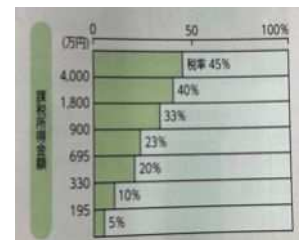
→逆進性



## 累進課税

## 所得税

1年間に給料や事業などで  
個人が得た所得に対して  
かかる税



## 自動車税

自動車、二輪者などの所有者が毎年納付する税金  
(車種や排気量によって負担する税が異なる)

車種	自動車	軽自動車
課税対象	自動車税(自動車税)	軽自動車税(軽自動車税)
課税標準	自動車税(自動車税)	軽自動車税(軽自動車税)
税率	自動車税(自動車税)	軽自動車税(軽自動車税)

## まとめ

## 今日の問い

「公平な税制度はどのような仕組みで成  
り立っているのだろうか」について  
本日習ったことをふまえ、答えよう。

私たちの生活と税の役割

組 番 名前

## 公平な税制度ってなんだろう？

- ◆ どんなところに税金が使われているのだろうか？資料を参考に考えてみよう。

- ◆ すべての人に対して一律に課税するのは、公平か2つの事例から考えて理由も書こう。

事例1 ( 公平 ・ 不公平 )

理由

事例2 ( 公平 ・ 不公平 )

理由

- ◆ 公平な税制度はどのようなしくみで成り立っているか、自分なりにまとめてみよう。

## 中等社会Ⅲ指導案

5班 佐藤、高木、田中、谷口、永井

## ○実施学年、教科など

・第3学年/社会科公民分野（B 私たちと経済（2）国民の生活と政府の役割）（ア（イ）、イ（イ））

## ○単元の目標

・税の使いみちについて、項目やカテゴリーなどに整理してまとめる等、相互関係を整理してまとめる活動を通して、財政および租税の意義と役割、国民の納税の義務について理解する。

・公正・持続可能性などに着目して、政府の役割や財政の在り方について考察・抗争し、表現する。

・社会の一員（税の負担者）として税の使い道など国・地方公共団体の経済活動（財政）に関心を持ち、シミュレーションを通して、それぞれの立場に配慮し、公平な社会の在り方について多面的・多角的に考えようとする。

## ○指導計画（5時間・各1時間）

【単元を貫く問い】持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。

第1時 私たちの生活と税の役割

第2時 税の仕組みや種類と私たち（本時）

第3時 財政の働き、社会保障と国民の福祉

第4・5時 財政の現状と課題

## 1 本時の目標

税の基本的な種類や仕組みについて学び、累進課税についてディベートする活動を通して、税の公平性について根拠をもって自分の意見を考えることができる。（思考・判断・表現）

## 2 本時の展開（2/5時間）

区分	学習活動と内容 (予想される生徒の反応)	指導上の留意点・支援と評価 (・留意点◇教師の支援■評価の観点と方法)	準備物 資料
導入 (15分)	1 前時の復習 ・税は、公共サービスの費用を賄うものであり、みんなが互いに支えあい、共によりよい社会をつくっていくための費用は、みんなが公平に分かち合う必要がある。	・税は国民の生活を支える福祉の基盤であり、公平に税を納め、お互いに支えていく仕組みであることを理解する。 ・公平とは能力や条件を考慮したうえで同等に扱うことであり、平等とは能力や条件を考慮せず同等に扱うことをイラストをもとに理解する。	

	<p>2 生徒の発表から、税の種類について整理する。</p> <p>・消費税 ・所得税 ・固定資産税</p> <p>3 整理した税の種類を直接税と間接税に分け、税の集め方の仕組みについて知る。</p> <p>4 所得税のグラフを見て、累進課税の仕組みについて知る。</p>	<p>・具体的に何に対して税がおさまられているかを考えることで、生徒が税を身近に感じることができるようにする。</p> <p>・消費税のように負担者と納税者が異なる税は間接税、所得税のように負担者と納税者が一致する税は直接税に区分されることを理解する。</p> <p>・累進課税は納税者の所得によって税率が変化することについてグラフを見て視覚的に理解する。</p>	税の種類を示したカード
展開 (30 分)	5 学習課題を提示する		
	なぜ税の集め方には	はたくさんの種類があるのだろう。	
	<p>6 税が一律（消費税）の際のグラフを見て、そのメリットとデメリットを考える。また、どちらの資料を基に考えたかを書く。</p> <p>・みんな平等</p> <p>・所得が低い人がつらい</p> <p>7 個人で考えた税が一律の際のメリットとデメリットを班で交流する。</p> <p>8 累進課税のグラフを見て、そのメリットとデメリットを考える。また、どちらの資料を基に考えたかを書く。</p> <p>・所得の低い人への配慮がある</p> <p>・所得の高い人が多く取られてしまって、損になる。</p> <p>9 個人で考えた累進課税のメリットデメリットを班で交流する。</p>	<p>◇自分の意見を持つことが難しい生徒に対しては、身近な買い物の場面を想起して、消費税のメリットとデメリットを考えることができるようにする。</p> <p>・累進課税の所得ごとの納税額と課税率を示したグラフを見ることで、累進課税にどのようなメリットとデメリットがあるかを考えられるようにする。</p> <p>◇自分の意見を持つことが難しい生徒に対しては、具体的に自分がどの立場にあるか（所得が高い・低い・税金を集める人）を想像することで、自分の立場を考えることができる。</p>	ワークシート 資料のプリント

	<p>10 税の集め方を累進課税だけにするか、一律の税率だけにするか自分が賛成する方を考えてワークシートに自分の立場と理由を記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・累進課税：日本は福祉国家なので、所得の低い人を援助したほうが良い。より公平な税負担。</li> <li>・一律の税率：所得が高ければ高いほど税金がとられるとなれば、人々の労働意欲がなくなるため。</li> </ul> <p>集めるのが楽</p> <p>11 自分の意見を班で共有する。</p>		
まとめ (5分)	<p>12 班での交流を基に、なぜ税の種類はたくさん存在するのかについて、公平性に着目して考えたこととその根拠をワークシートに記入する。</p> <p>13 本時の振り返りを行う。</p>	<p>■税の基本的な種類や仕組みについて学び、消費税や累進課税の特徴についてディベートする活動を通して、税の公平性について根拠をもって自分の意見を考えることができる。【思考・判断・表現】（ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税の種類が多様であるのは、国民の所得や生活状況を考慮して税を公平に集めるためであることを理解できるようにする。</li> </ul>	

### 3 評価規準

#### 【思考・判断・表現】

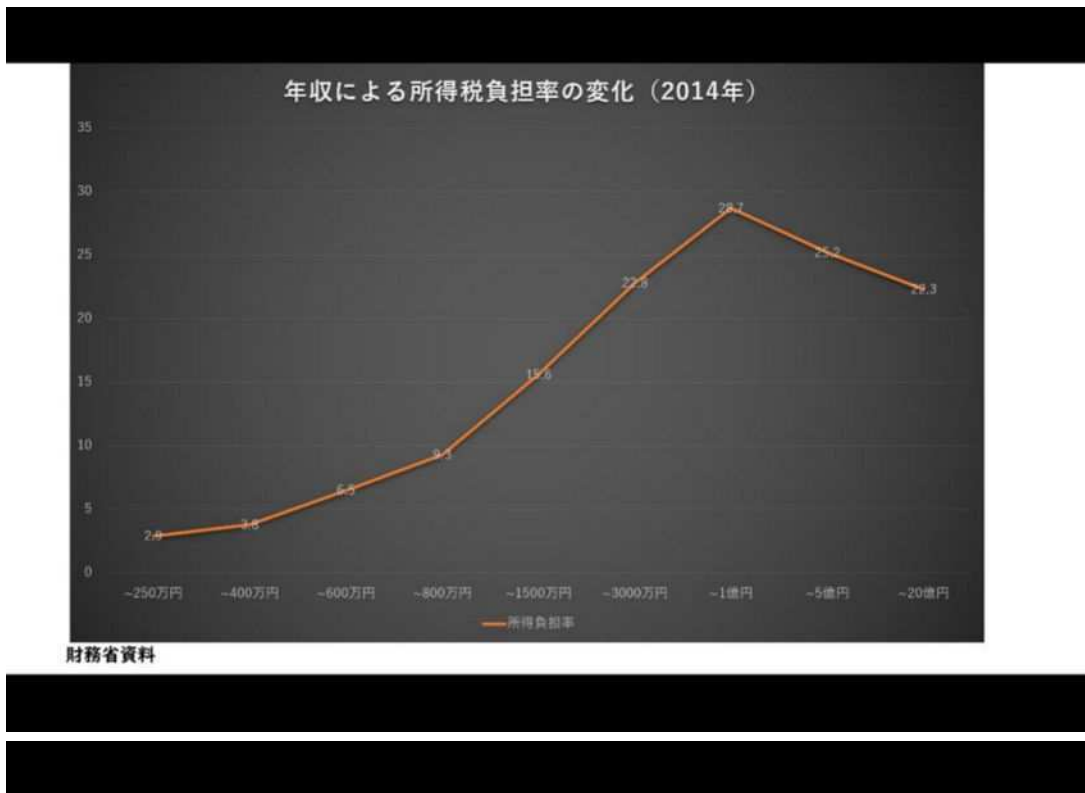
税の基本的な種類や仕組みについて学び、消費税や累進課税の特徴についてディベートする活動を通して、税の公平性について根拠をもって自分の意見を考えている。



## 4 ワークシート

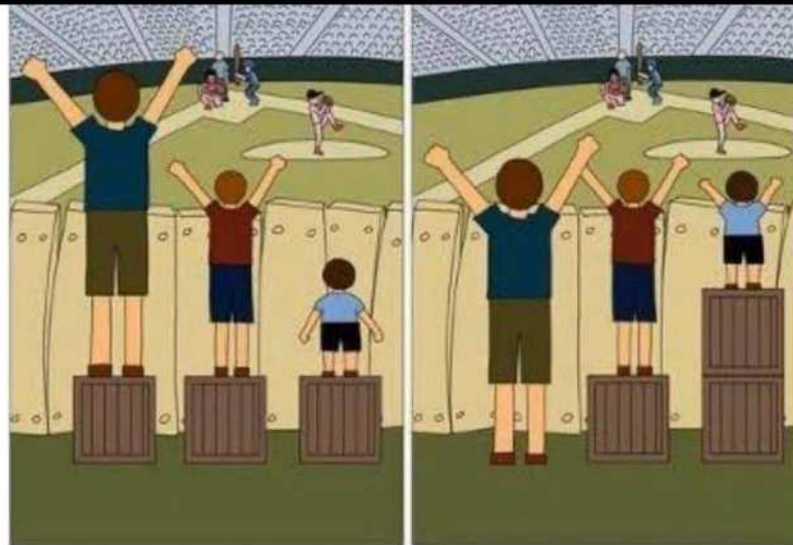
年 組 氏名	
<div style="border: 1px solid black; background-color: #f0f0f0; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="margin: 0;"><b>税の仕組みや種類と私たち</b></p> <p style="margin: 0;">～累進課税に賛成するか、反対するかを考えよう～</p> </div>	
<p>★税率が一律の場合と累進課税の場合のメリット・デメリットを考えよう。(どの資料を参考に考えたかも書こう。)</p>	
<p>〈税率が一律の場合 (消費税)〉</p> <p>メリット:</p> <p>デメリット:</p>	<p>〈累進課税の場合〉</p> <p>メリット:</p> <p>デメリット:</p>
<p>★税の集め方を累進課税だけにするか、一律の税率だけにするか、自分が賛成する方を考えて自分の立場とその根拠を考えよう。</p> <p>自分の立場: ( 累進課税だけ ・ 一律の税率だけ )</p> <p>根拠:</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; margin-top: 5px;"></div>	
<p>★班での議論を踏まえ、なぜ税の種類はたくさん存在するのかについて、税の公平性に着目して考えたこととその根拠を書こう。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; margin-top: 5px;"></div>	

## 5 資料



課税される所得金額	税率	控除額
1,000円 から 1,949,000円まで	5%	0円
1,950,000円 から 3,299,000円まで	10%	97,500円
3,300,000円 から 6,949,000円まで	20%	427,500円
6,950,000円 から 8,999,000円まで	23%	636,000円
9,000,000円 から 17,999,000円まで	33%	1,536,000円
18,000,000円 から 39,999,000円まで	40%	2,796,000円
40,000,000円 以上	45%	4,796,000円

No.2260 所得税の税率 | 国税庁



平等

公平

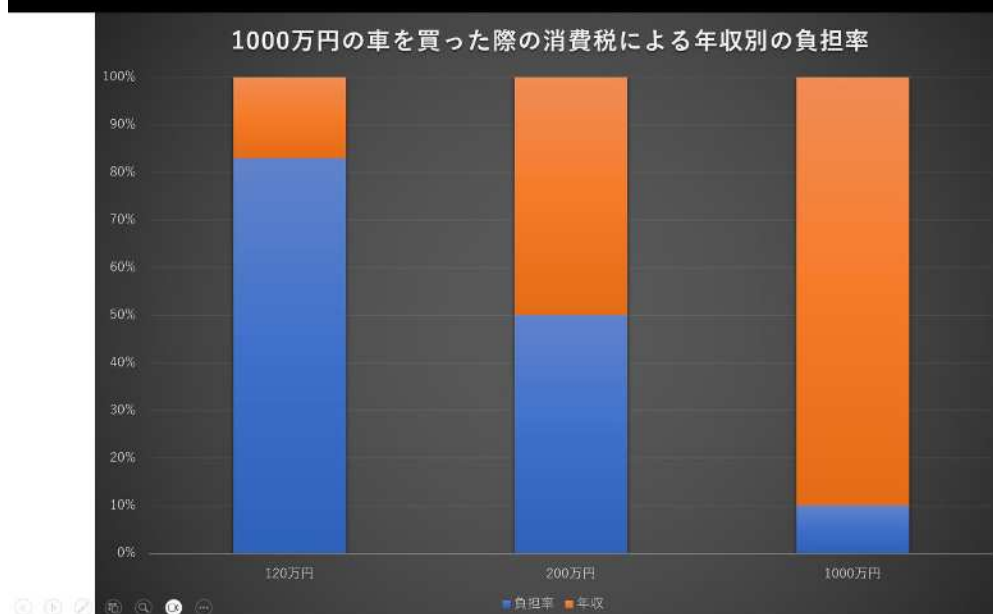
## カルダーの優れた税制のための4つの配慮

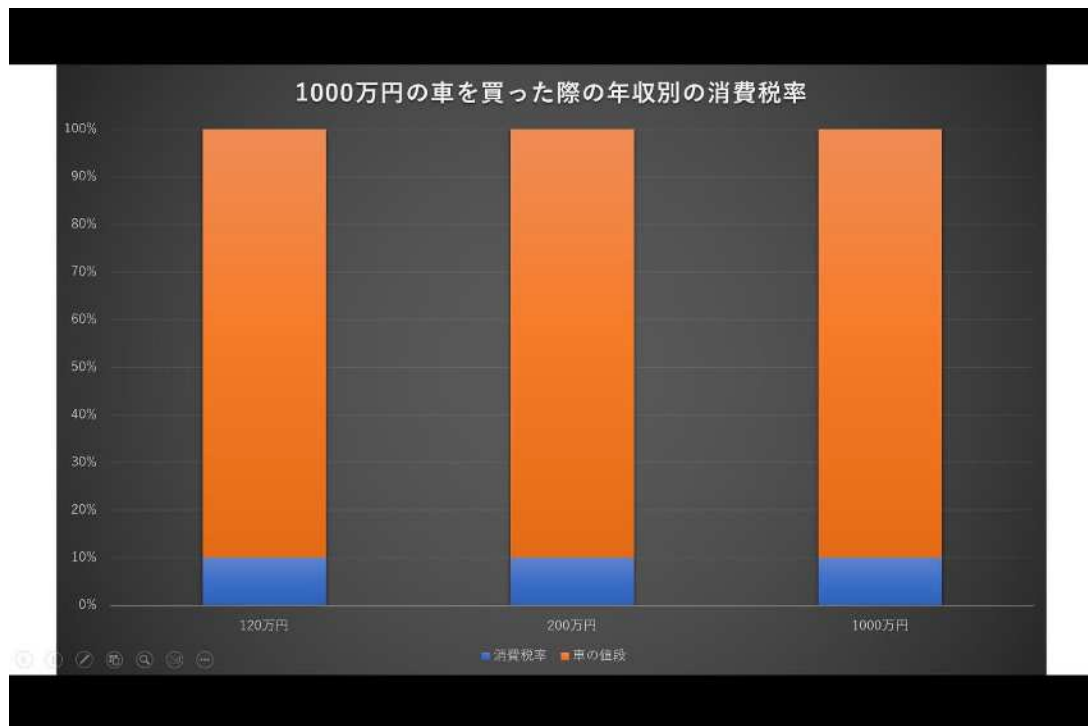
### ①公平

個人や社会の間に公平に租税負担を分配する

### ③行政

いかに制度として税制が公平であったとしても、  
行政的に実施可能でなければならない





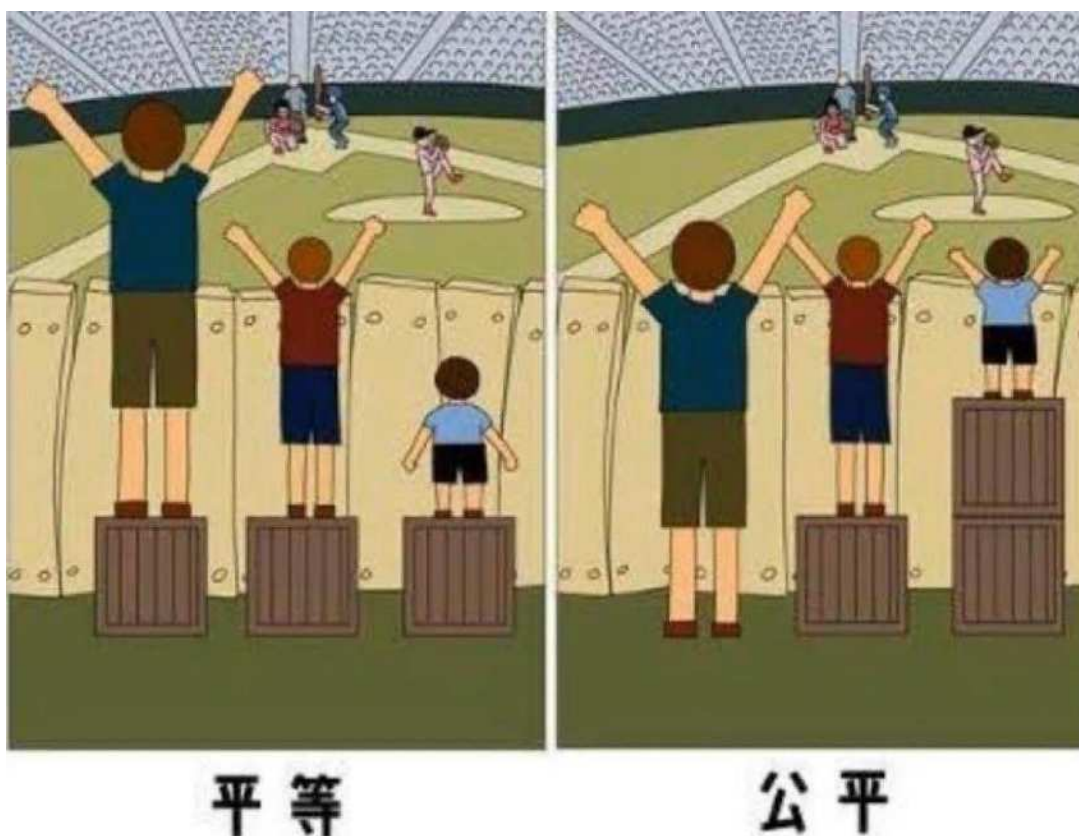
## 2班

# 事例2「税の仕組みや種類と私たち」

佐藤、高木、田中、谷口、永井

## 前時の復習





## 税の種類

消費税、所得税、法人税、相続税、  
固定資産税、酒税、関税 など

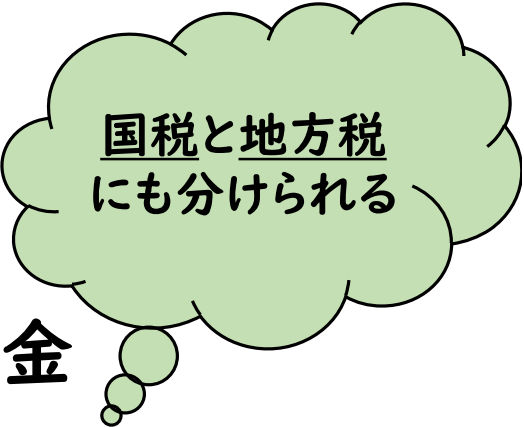
→これらの税は大きく2種類に分ける  
ことが出来る



# 税の種類

## 直接税

=納税者と担税者が同じ税金



国税と地方税  
にも分けられる

## 間接税

=納税者と担税者が異なる税金

# 税の種類

## 直接税

c所得税、法人税、相続税、固定資産税 など

## 間接税

消費税、酒税、関税 など

## ● 所得税の税率の構造をグラフにしてみると



間違いだらけの所得税計算“高く見積もりすぎ”課税所得700万円なら、161万×97万〇|PRESIDENT Online (プレジデントオンライン)

## 所得税について

所得が多くなればなるほど高い税率を適用する累進課税の方法がとられている

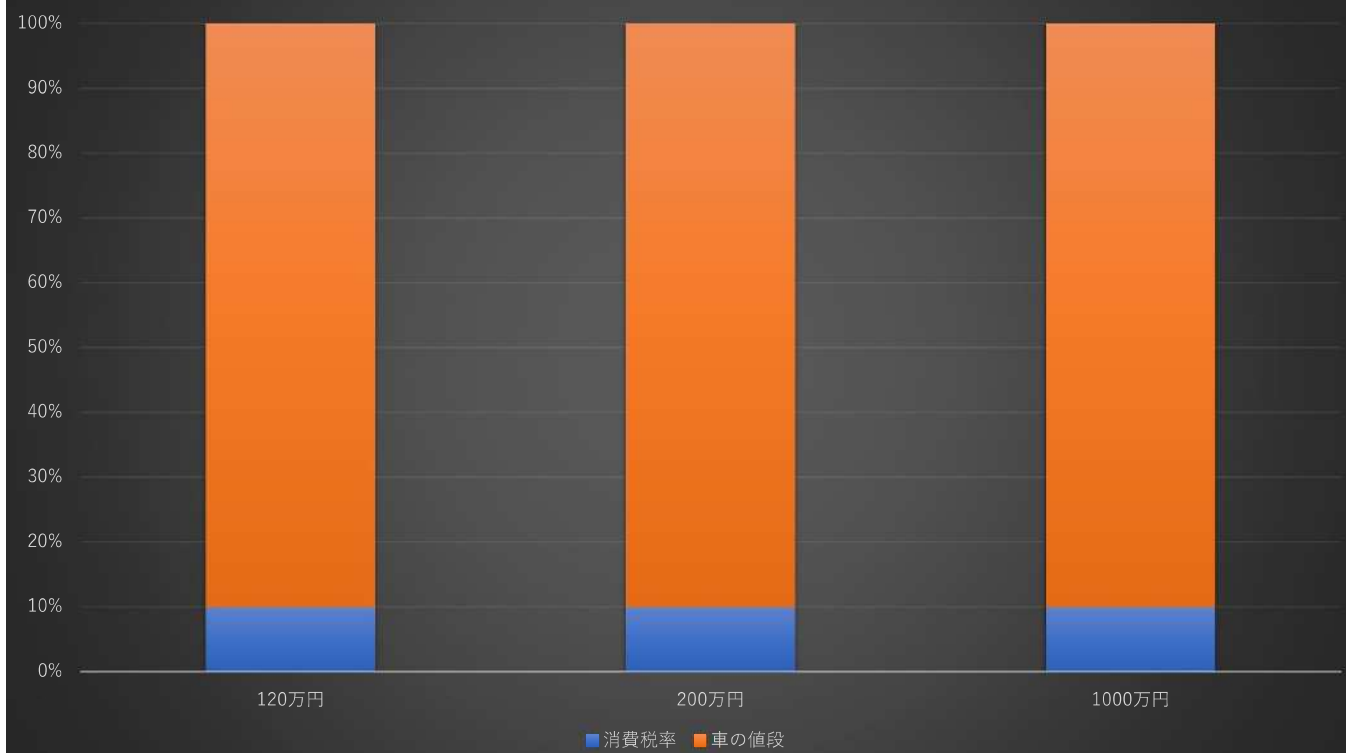
⇒この所得税の在り方って「公正」？

## 学習課題

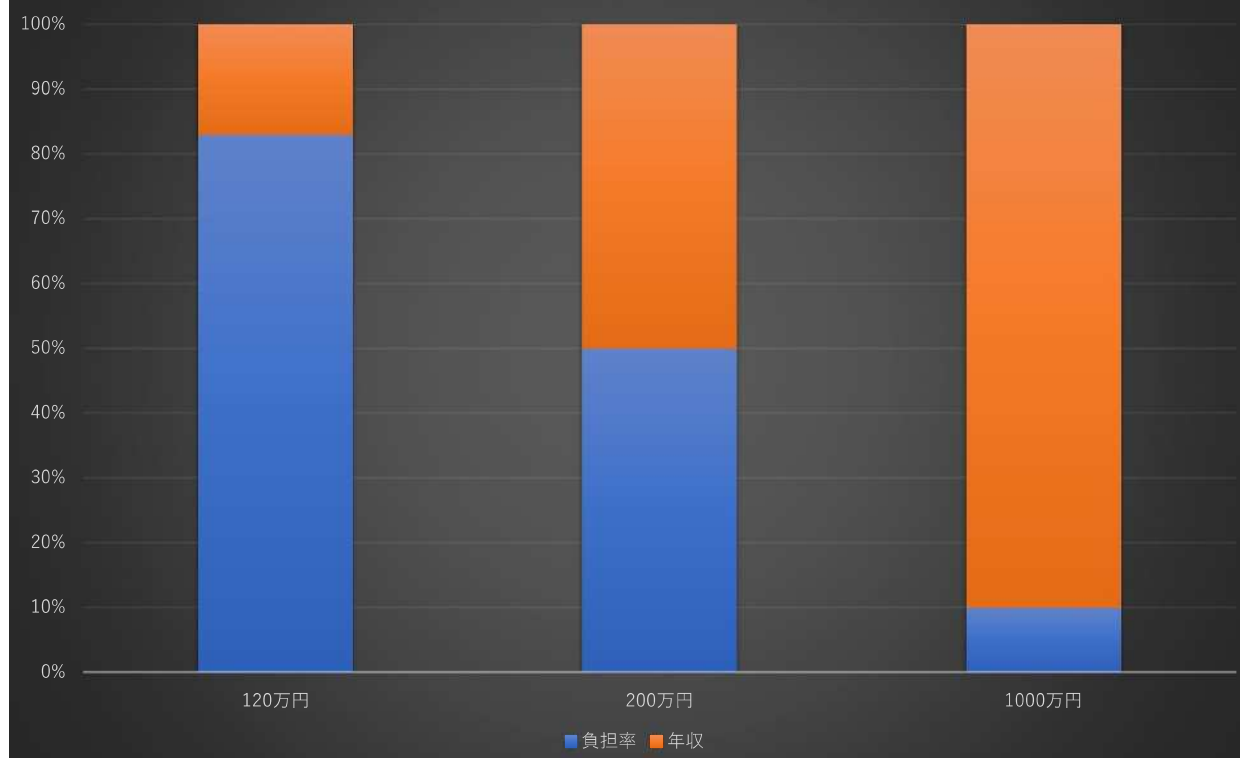
**なぜ税の集め方にはたくさんの種類があるのだろう**

**税が一律（消費税）の場合の  
メリット・デメリットを考えよう**

1000万円の車を買った際の年収別の消費税率



1000万円の車を買った際の消費税による年収別の負担率



所得階層別の消費税負担額と収入に占める割合（調査世帯全体）



↑世帯の年間消費税額は平均は平均24万円-前年比1万円減|マイナビニュース

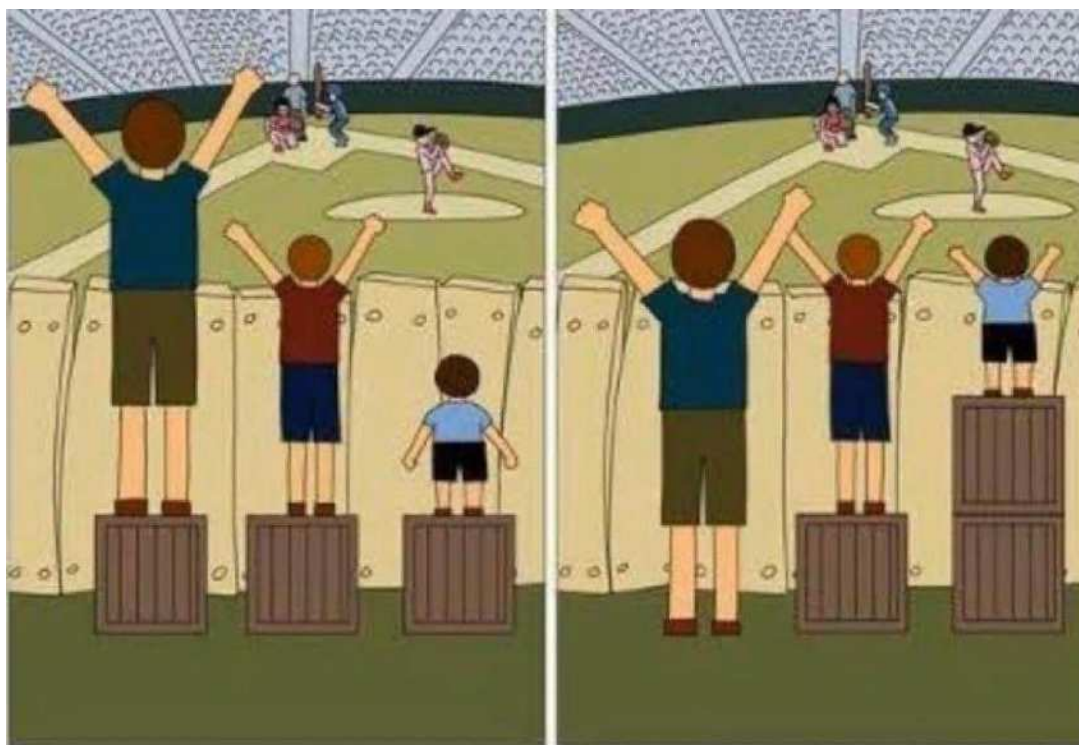
## カルダーの優れた税制のための4つの配慮

### ①公平

個人や社会の間に公平に租税負担を分配する

### ③行政

いかに制度として税制が公平であったとしても、  
行政的に実施可能でなければならない



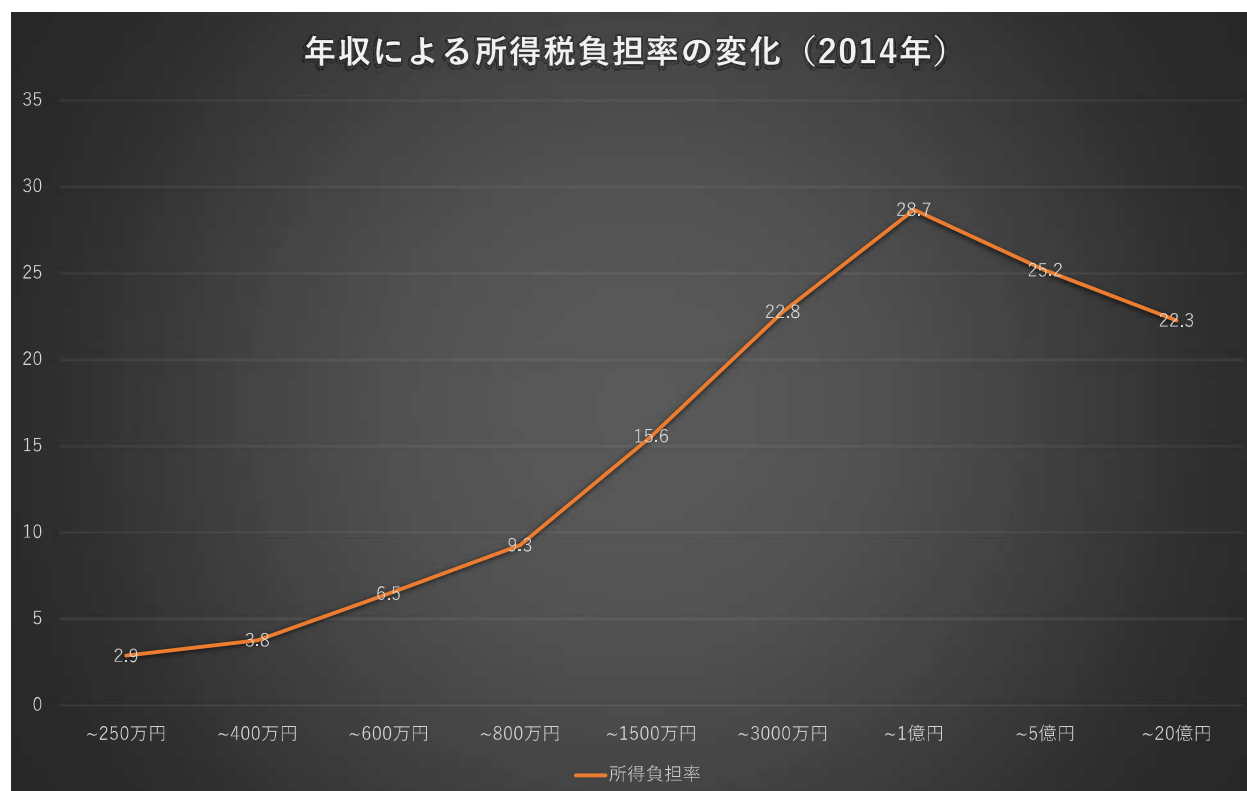
平等

公平

累進課税（所得税）の場合の  
メリット・デメリットを考えよう

課税される所得金額	税率	控除額
1,000円 から 1,949,000円まで	5%	0円
1,950,000円 から 3,299,000円まで	10%	97,500円
3,300,000円 から 6,949,000円まで	20%	427,500円
6,950,000円 から 8,999,000円まで	23%	636,000円
9,000,000円 から 17,999,000円まで	33%	1,536,000円
18,000,000円 から 39,999,000円まで	40%	2,796,000円
40,000,000円 以上	45%	4,796,000円

No.2260 所得税の税率 | 国税庁



財務省資料



## カルダーの優れた税制のための4つの配慮

### ①公平

個人や社会の間に公平に租税負担を分配する

### ③行政

いかに制度として税制が公平であったとしても、  
行政的に実施可能でなければならない

税の集め方を累進課税だけにするか、一律の税率だけにするかを個人で考えてワークシートに自分の立場と理由を記入しよう

**自分の意見を班で共有しよう**

**班での交流を基に、税の公平性について気づいたこととその根拠をワークシートに記入しよう**

## 本時の振り返り

**税金には様々な種類があり、  
税金の制度は複数の税金をうまく組  
み合わせることで全体として公平性が  
保たれている。**

## 【中学校】事例2「税の仕組みや種類と私たち」

ポイント➤ 消費税と累進課税の負担感を比較し、公平な税とは何なのかを考えさせること。

### ○実施学年、教科など

- ・第3学年／社会科公民的分野(B 私たちと経済 (2)国民の生活と政府の役割(ア(イ)、イ(イ)))

### ○単元の目標

- ・税の使いみちについて、項目やカテゴリーなどに整理してまとめる等、相互関係を整理してまとめる活動を通して、財政及び租税の意義と役割、国民の納税の義務について理解する。
- ・公正・持続可能性などに着目して、政府の役割や財政の在り方について考察・構想し、表現する。
- ・社会の一員(税の負担者)として、税の使いみちなど国・地方公共団体の経済活動(財政)に関心を持ち、シミュレーションを通して、それぞれの立場に配慮し、公平な社会の在り方について多面的・多角的に考えようとする。

### ○指導計画(5時間・各1時間)

【単元を貫く問い】持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。

第1時 私たちの生活と税の役割<事例1>

**第2時 税の仕組みや種類と私たち<本時>**

第3時 財政の働き、社会保障と国民の福祉

第4・5時 財政の現状と課題<事例3>

### 1 本時の目標

- ・消費税と累進課税についての基本的な知識やメリット、デメリットについて理解することができる。
- ・消費税と累進課税の制度のメリット、デメリットを比較し、公平な税とは何か考え、自分の言葉で表現することができる。
- ・税制度の公平性について深く関心を持ち、積極的に授業に参加することができる。

### 2 本時の展開(1/5時間)

	○主な発問／・学習活動・学習内容●生徒の反応	指導上の留意点
導入	<p>・前回の復習をする。最初にワークシートに一人で考えたことを記入する。意見を発表する。(挙手性) 生徒の回答をもとに前回の復習について教員がまとめる。</p> <p>○前回どのようなことをしたかな。思い出したことをワークシートに書いてみよう。意見を発表してくれる人はいますか。</p> <p>●租税の意義について考えた。税は公共サービスの費用を賄うものであった等に意見が返ってくる。</p> <p>・よりよい社会を作っていくためには税金を皆で公平に集めなければいけないということを伝える。</p> <p>・めあて「公平な税について考えよう。」を板書する。</p>	<p>・前回の学びが今回の授業につながるため、復習を丁寧に行う。</p> <p>・必ず一人で考えさせる。</p> <p>・挙手が出ない場合、答えられそうな生徒を選びあてる。</p> <p>・丁寧にまとめる。</p>

<p>展 開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税から公平性について考える。</li> <li>・サラリーマン、社長の例を用いてそれぞれの月収や年収の違いについて理解する。</li> <li>・活動1に取り組む。200万円の車の消費税が20万円ということを理解する。</li> <li>・消費税の負担感について考え、ワークシートに意見をまとめる。発表する。(挙手性)</li> <li>○例にあるサラリーマンにとっての20万円と社長にとっての20万円にはどのような違いがありますか。考えてみましょう。</li> <li>●20万円はサラリーマンの月収のほぼすべてのため、200万円の社長と比べると不公平になる。</li> <li>→同じ額というと公平に思うかもしれないが、人によって大きく負担感が異なることが消費税の特徴である。</li> <li>・累進課税(所得税)制度について理解する。ワークシートに板書を写す。</li> <li>・所得税がどのようなものであるかを、消費税の時に用いたサラリーマンと社長の例から理解し、公平性の違いを理解する。</li> <li>○さっきの消費税と比べて、どのような違いがあるかな。</li> <li>サラリーマンは所得税14万2千円、社長は680万円と大きな違いがあることをスライドから理解できる。</li> <li>●消費税と比較すると、それぞれの人の収入に合わせ税率が変化する点で公平な税であるといえる。しかし、払う額の差が人によって大きい。</li> <li>・消費税、累進課税について表でまとめる。ワークシートに記入する。</li> <li>・どちらが公平な税といえるかを考える。ワークシートに意見を記入し、周りの人と意見を共有する。発表する。</li> <li>○消費税と累進課税のどちらが公平な税といえるでしょうか。一人でもまず考えてワークシートに記入しよう。考えた意見を周りの人と意見を共有しよう。</li> <li>意見を皆の前で発表してくれる人はいますか。</li> <li>●それぞれの意見を発表する。</li> <li>(クラスの学習状況に合わせて以下の内容も追加する。)</li> <li>資本主義制度、社会主義制度について理解し、それぞれの経済システムから公平な税について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントを用いて、生徒がイメージしやすくなるよう工夫する。</li> <li>・机間指導を行いながら、生徒が活動に取り組めているかを確認する。困っている生徒がいれば助言をするなどの指導を行う。</li> <li>・生徒が発表してくれた意見をうまく利用し、消費税の特徴についてまとめる。</li> <li>・板書するだけでなく、具体的な説明を加える。</li> <li>・消費税との違いについて強調し、公平性にどのような違いがあるか生徒に疑問を投げかけ、考えさせる指導を行う。</li> <li>・●のように答えることができなくても、生徒の意見の良いところを利用し、この回答を生徒が考えられるような発問を意識する。</li> <li>・板書を丁寧に行う。</li> <li>・活動に積極的に取り組んでいるかを机間指導しながら評価する。</li> </ul>
<p>ま と め</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公平な税とは何か考え、ワークシートに意見をまとめる。</li> <li>【考えてほしいこと】</li> <li>・現在の日本で公平な税とはいったい何と考えるか。</li> <li>・消費税、累進課税制度のメリット、デメリットから、これからの日本の社会でどのような税制度が公平といえるのか。</li> <li>日本の社会を常に監視し続けることが公平な税につながっていくことを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えてほしいことを伝える。</li> <li>生徒にとって税システムは複雑であるものの、これからの日本を担っていく人材として常に日本の社会制度の何が正しいのか、何が間違っているのかということを考えてもらえるようなまとめ</li> </ul>

方をする。

### 3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税、累進課税制度の基礎知識、メリット、デメリットについて理解できている。</li> <li>・資料から情報を読み取り、その情報を活用して教員からの発問に答えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税と累進課税制度の仕組みからどちらの税が公平であるのかを考え、意見をワークシートにまとめることができる。</li> <li>・現在と将来の日本社会でどのような税があれば公平だといえるのかを考え、授業のまとめとしてワークシートに表現できている。</li> <li>・他国の社会システムと、日本の社会システムを比べ、公平な税について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に自分の意見を発言しようとしている。</li> <li>・これからの日本社会を担っていく者として、自分に何ができるか理解し考えることができる。</li> </ul>

#### 教材

ワークシート、パワーポイント

#### 板書計画

めあて 公平な税について考えよう。

#### 消費税

- ・生徒の意見 A
- ・生徒の意見 B
- ・生徒の意見 C

不平等を解消したい、

#### 累進課税制度

所得が増えるにつれて税率が高くなる税制度のこと。

<復習> 租税の意義とは？

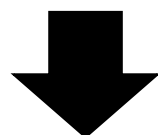
④ 公平な税について考えよう！

<Active①>

2人とも同じ200万円の車を買おうとしたら、、、

そもそも、消費税（10%）はいくら・・・>

2人はどう違う？



この不平等感を解消したい、、、

累進課税

累進課税とは、、、



## 税の仕組みや種類と私たち②

### ワークシート

名前

6班 指導案

### ま と め

	消費税	所得税
払う額		
負担感		

### <Active②>

消費税と所得税あなたにとったらどちらが公平なの??

私は、

と思います。

なぜなら、

<振りかえる🐸>

「公平な税」とは？ あなたの言葉で書きましょう。

# 中等社会（公民）科教育Ⅲ

6班

～事例2:税の仕組みや種類と私たち～

めあて

公平な税について考えよう。

サラリーマン



社長



サラリーマン



社長



月収：20万円  
年収：240万円

月収：200万円  
年収：2400万円

# 🤔 考えよう

2人とも同じ200万円の車を買おうとしたら、、、



サラリーマン



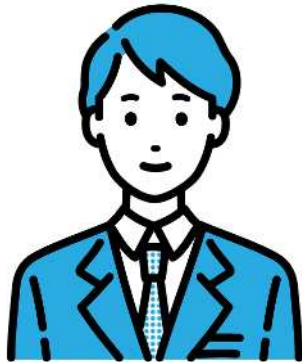
月収：20万円  
年収：240万円

社長



月収：200万円  
年収：2400万円

## サラリーマン



月収：20万円  
年収：240万円  
所得税：38,000円（年）

## 社長



月収：200万円  
年収：2,400万円  
所得税：519万円（年）

## サラリーマン



月収：20万円  
年収：240万円  
所得税：38,000円（年）

## 社長



月収：200万円  
年収：2,400万円  
所得税：519万円（年）



# まとめ

	消費税	所得税
払う額	同じ	ちがう
負担	ちがう	同じ



# 考えよう

消費税

所得税

どちらが公平なの??



振り返り

「公平な税」とは？



## 【中学校】事例3「財政の現状と課題」

ポイント➤ 租税に関する日本の課題を学び、模擬選挙を通して国民の一人として政治に参加することの意義を感じること重点を置いた授業例

### ○実施学年、教科など

- ・ 第3学年／社会科公民的分野(B 私たちと経済 (2)国民の生活と政府の役割(ア(イ)、イ(イ)))

### ○単元の目標

- ・ 税の使いみちについて、項目やカテゴリーなどに整理してまとめる等、相互関係を整理してまとめる活動を通して、財政及び租税の意義と役割、国民の納税の義務について理解する。
- ・ 公正・持続可能性などに着目して、政府の役割や財政の在り方について考察・構想し、表現する。
- ・ 社会の一員(税の負担者)として、税の使いみちなど国・地方公共団体の経済活動(財政)に関心をもち、シミュレーションを通して、それぞれの立場に配慮し、公平な社会の在り方について多面的・多角的に考えようとする。

### ○指導計画(5時間・各1時間)

【単元を貫く問い】持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。

第1時 私たちの生活と税の役割<事例1>

第2時 税の仕組みや種類と私たち<本時>

第3時 財政の働き、社会保障と国民の福祉

第4・5時 財政の現状と課題<事例3>

### 1 本時の目標

- ・ 社会保障の現状から、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解する。

<知識・技能>

- ・ 社会保障費に関する課題から、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現する。

<思考・判断・表現>

- ・ 模擬選挙を通して、租税に関する課題に国民の一人として解決する方法を考える。

<学びに向かう力・人間性等>

### 2 本時の展開(4/5時間)

	主な発問／学習活動・学習内容、生徒の反応(※)	指導上の留意点
--	-------------------------	---------

導 入	<p>1. 身近な税金について考える</p> <p>○「税金はどんなことに役立っている？」</p> <p>→「道路」「教育」「医療」</p> <p>⇒税金の使い方は今のままでよいのか？</p> <p>2. 本時の学習課題・見通しを提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>めあて</p> <p>日本の税金の使い方を考え直し政治参加の重要性を知ろう。</p> </div>	<p>・税金の使い方について 発問し、前時までの復 習を行う</p> <p>・</p>
展 開	<p>3. 財政における社会保障について考える</p> <p>○「日本の歳出総額において社会保障費は何%？」</p> <p>→ワークシートに予想を記入</p> <p>→「50%」「10%」</p> <p>⇒答えは「33.5%」</p> <p>4. 税金の使い方について考える</p> <p>○「歳出の割合を考え直すとしたらどの割合を変えるべき？」</p> <p>→グラフから読み取る</p> <p>→「社会保障費」「教育」「公共事業」「防衛費」</p> <p>→ワークシートに記入</p> <p>5. 社会保障費を税金で負担することについて考える</p> <p>○「社会保障にはどんなメリット、デメリットがある？」</p> <p>→ペアで考える</p> <p>→メリット：「医療費が安くなる」「国から見捨てられない」「老後に年金がもらえる」</p> <p>デメリット：「少子高齢化によって若者の負担が増える」</p> <p>「健康な人にとっては関係のない支出が増える。」</p> <p>6. 模擬選挙</p> <p>○「自分たちが考える税金の使い方が実現されるにはどうするか？」</p> <p>→「選挙で投票する」</p> <p>○模擬選挙で、自分の考える税金の使い方に近い党に投票しよう</p> <p>→2つの政党の主張を表示</p> <p>→A：社会保障の割合を減らす。余った税金は教育や国の安全保障に活用し、国債の減額にも取り組む。</p>	<p>・ワークシートの円グラフ に予想を記入させる</p> <p>・生徒の発言に対し、例を 挙げることで全員の理 解を深める</p> <p>・少子高齢化による若者 の負担の増加につい ては、補助用の資料を 用意する。</p> <p>・投票の際は理由も合わ せて書かせ、速く書け た生徒を例として紹介 する</p>

	B:社会保障を現状維持する。消費税を15%に引き上げ、教育や国の安全保障に活用し国債の減額にも取り組む。 →投票する党を決め、ワークシートに理由とともに記入。	
まとめ	7.次回以降の展開の確認 ○どちらの党に投票すべきか討論 8. 振り返りを記入	

### 3 評価規準

【知識・技能】

【思考・判断・表現】

・模擬選挙において、社会保障の現状を踏まえて自分の考えを述べることができる

【主体的に学習に取り組む態度】

・社会保障における課題について、自分自身の政治参加によって解決しようとする考え方を持つ

### 4 準備物

パワーポイント、ワークシート、教科書

### 5 板書計画

めあて  
日本の税金の使い方を考え直し、政治参加の重要性を知ろう。

◎社会保障のメリット・デメリット

メリット	デメリット

☆模擬選挙に参加してみよう！

**6 教材・資料**

☆ワークシート

☆スライド資料


## ワークシート

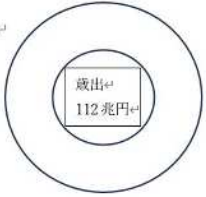
**「財政の現状と課題」**

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 氏名：\_\_\_\_

1. 社会保障費は税金の何%を占めているのだろうか。  
 予想して左の円グラフに色を塗ってみよう。

〈予想〉                      〈実際〉





2. 歳出の割合を考え直すとしたらどの割合を変えるべき？

• \_\_\_\_\_

• \_\_\_\_\_

• \_\_\_\_\_

3. 社会保障費のメリットとデメリットを考えてみよう。

メリット	デメリット

4. 選挙に参加してみよう！

A 党の主張→社会保障の割合を減らします。余った税金は教育や国の安全保障に活用し国債の減額にも取り組みます。

B 党の主張→社会保障費を今のままに維持します！消費税を 15%に引き上げ、教育や国の安全保障に活用し国債の減額にも取り組みます。

自分が投票した政党は？

党

その理由は？

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

5. 振り返り

## スライド資料

## 財政の現状と課題

7班

税金はどんなことに役に立ちますか？



**教育**  
 (教科書や学校  
 のお金など)



**公共事業**  
 (道路整備など)



**医療費**  
 (病院など)

めあて

日本の税金の使い方を考え直し、  
 政治参加の重要性を知ろう！

社会保障費は、歳出の何%だろうか。



歳出の割合を考え直すとしたら、  
どの割合を変えるべき？

社会保障には、どんなメリット・デメリットがあるだろうか。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療費が安くなる。</li> <li>・ 老後に年金がもらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化によって若者の負担が増える。</li> <li>・ 健康な人にとっては関係のない支出が増える</li> </ul>



自分たちが考える税金の使い方が実現するには、  
 どうする？



選挙で投票しよう！



A党

社会保障の割合を減らします！  
余った税金は  
教育や国の安全保障に活用し、  
国債の減額にも取り組みます！



# B党

**社会保障を今のままに維持します！**

**消費税を15%に引き上げ、  
教育や国の安全保障に活用し、  
国債の減額にも取り組みます**



データ集 | 税の学習コーナー | 国税庁

国税庁 税の学習コーナーデータ集より

7 班メンバー

指導案：中村

スライド：橋本

模擬授業：橋屋

ワークシート：八陳

資料集め：濱

## ○実施学年、教科など

・第3学年／社会科公民的分野(B 私たちと経済(2) 国民の生活と政府の役割(ア(イ)、イ(イ)))

## ○単元の目標

- ・税の使いみちについて、項目やカテゴリーなどに整理してまとめる等、相互関係を整理してまとめる活動を通して、財政及び租税の意義と役割、国民の納税の義務について理解する。
- ・公正・持続可能性などに着目して、政府の役割や財政の在り方について考察・構想し、表現する。
- ・社会の一員(税の負担者)として、税の使いみちなど国・地方公共団体の経済活動(財政)に関心をもち、シミュレーションを通して、それぞれの立場に配慮し、公平な社会の在り方について多面的・多角的に考えようとする。

## ○指導計画(5時間・各1時間)

【単元を貫く問い】持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。

第1次 私たちの生活と税の役割 <本時>

第2時 税の仕組みや種類と私たち <事例2>

第3時 財政の働き、社会保障と国民の福祉

第4・5時 財政の現状と課題 <事例3>

## 1 本時の目標

・マニフェストを考える中で、これまで学習してきた現状や課題を適切に捉えそれらを多角的に思考し現状の課題の解決に向けて取り組む。(知識・技能／思考・判断・表現／主体的に学習に取り組む態度)

## 2 本時の展開(5/5時間)

	主な発問／学習活動・学習内容、生徒の反応(※)	指導上の留意点
導入 (8分)	<p>1. 前時の復習</p> <p>(1) 少子高齢化の原因となっている問題を思い出す。 (未婚化, 晩婚化, 低賃金, 子育て支援への不安, 医療費, 年金への不安, 出生率の低下)</p> <p>2. 本時の学習につなげる</p> <p>(1) これらの問題を解決するためには、お金が必要となる。これらのお金は税を財源としていることを理解する。</p> <p>(2) 私たちがこの問題を解決するために何ができるのか考える。 ※選挙に参加する。 ※税金をたくさん納める。</p> <p>(3) 選挙で投票する際、何を見て選ぶのか考える。 ※公約、マニフェスト。 ※好感度(SNSなどでの評価)。</p> <p>(4) マニフェストの例を見る。</p> <p>3. 本時の課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>少子高齢化の課題解決に向け、税や財政に注目してマニフェストを作る。</p> </div>	<p>・最初は生徒に考えさせる。詰まったら教師が提示し本時の本題に移る。</p> <p>・少子高齢化とは別事例のマニフェストをスライドで提示する。</p>



<p>展開 (32 分)</p>	<p>4. 各グループにマニフェストを考えるための論点を割り当てる。</p> <p>(1) クラスを6つのグループに分ける。</p> <p>(2) 6つのグループにそれぞれ導入で挙げた6つ(未婚化と晩婚化は統合)の重要な論点を割り当てる。</p> <p>5. 税や財政に注目してマニフェストを作る。</p> <p>(1) わが国の財政に関連する資料を提示し、歳入(主に税金)および歳出について理解する。</p> <p>※税金以外には公債がある。</p> <p>※所得税や法人税とは何だろう？</p> <p>※消費税の割合が大きい。</p> <p>※社会保障の割合がとても大きい。</p> <p>※日本は軍隊を放棄しているのに防衛費がかかるのか？</p> <p>※公債で首が回っていないのではないかな？</p> <p>(2) 論点となる問題を解決するための施策(マニフェストの主題となる)を考える。</p> <p>※未婚化・晩婚化対策のために結婚したら給付金を出そう。</p> <p>※低賃金対策のために最低賃金を上げ、足が出る分は給付金を出そう。</p> <p>※子育て支援のために給付金や施設・制度面の環境を整えよう。</p> <p>※医療費の負担額が大きいので、民間負担の割合を下げよう。</p> <p>※年金への不信感を拭うために目下の年金をちゃんと支給しよう。</p> <p>※出生率を上げるために給付金や施設・制度面の環境を整えよう。</p> <p>(3) (2)で考えた施策を実現するために必要なお金の動きを考え、マニフェストの主題を支える歳入(主に税金)および歳出に関わる施策(増税・減税や、歳出のコントロール)を考える。</p> <p>※消費税を増税して税金を増やそう。</p> <p>※消費税は減税しつつ所得税など累進課税となる税を増税しよう。</p> <p>※税金は変えずに公共事業を民間に回してその分を社会保障費に回そう。</p> <p>※税金は変えずに防衛費を減らしてその分を社会保障費に回そう。</p> <p>(4) (2), (3)で考えたマニフェストの主題とそれを支える財政にかかわる施策をひとつのマニフェストにする。</p> <p>※低賃金対策のために、最低賃金を上げます。それが払えない企業には、消費税を増税して増えた税金をもとにした給付金を支給します。</p> <p>※年金への不信感を拭うために目下の年金をきちんと支給します。その分のお金は公共事業を減らして民間に回すことで捻出します。</p> <p>※医療費の負担額を減らすために国家の持ち分を増やします。そのために消費税は維持しつつ所得税を、高所得者層を中心に増税して税金を増やします。</p> <p>※出生率低下の対策に給付金を出すとともに産休や育休の制度を</p>	<p>・税や財政に着目してマニフェストを考える。</p> <p>・(資料:国の一般会計歳入・歳出額)</p> <p>・簡単なものでよいので1つ出す。</p> <p>机間指導にて困る様子が見られれば例を教師が1つ提示して考えやすくする。</p> <p>・資料を見て、増減税や歳出のコントロールに着目させる。どちらかだけに言及してもよい。</p> <p>・考えたマニフェストの表題と、それを支える財政上の施策が噛み合っているかに注意させる。</p> <p>・演説に備え、何故そのマニフェストを掲げるのか？やその施策によってどのような効果が期待できるか？などを事前に考えさせておく。</p> <p>・グループ活動の間に投票用紙を配布しておく。</p>
--------------------------	--	--

	<p>整えます。その費用は防衛費を削減した分を回します。</p> <p>(5) ホワイトボードまたはロイロノートに記入し掲示する。</p> <p>(6) グループで1人演説を行う代表者を決める。</p> <p>6. マニフェストを発表し、良いと思うものに投票する。</p> <p>(1) 2分程度で代表者がマニフェストに関する演説をする。</p> <p>(2) 各グループの演説を踏まえて自グループ以外のグループに投票する。</p> <p>(3) 開票し学級の当選グループを発表する。</p>	<p>・カンニングしないよう注意する。</p> <p>・開票は教師が素早く行う。</p>
まとめ (10分)	<p>7. 第4・5時間目の学習をまとめる。</p> <p>※現役世代に過度な負担をかけないように、無闇に増税するのではなく税金の使い道を工夫する方向で考えることが大切だ。</p> <p>※財源に乏しい高齢者に過度な負担をかけないように、増税するにしてもその税を十分に払える人びとに対して租税がかかるようにするなどの工夫が必要だ。</p> <p>※租税とその運用は立法と行政が深くかかわっているので、われわれ国民は主権者として注意深く両方を監視し、われわれも政治の第一人者である意識をもつ必要がある。</p>	<p>・授業に対する単なる感想文に終わらないよう注意させる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>持続可能な税の在り方について、私たちは、どのように考えたらよいだろうか。</p> </div>		

### 3 評価基準

・マニフェストを考える中で、これまで学習してきた現状や課題を適切に捉えそれらを多角的に思考し現状の課題の解決に向けて取り組むことができている。(知識・技能／思考・判断・表現／主体的に学習に取り組む態度)

### 4 準備物

- ・ワークシート
- ・パワーポイント資料
- ・投票用紙

# 財政の課題と現状

年 組 名前

1. 少子高齢化の原因はなんだろう。前回の学習を振り返ろう。

--

めあて：少子高齢化の課題解決に向け、  
税や財政に注目してマニフェストを作成しよう

Memo 

マニフェストとは？⇒政党が発表する社会をよりよくするための公約のこと

グループの論点

--

2. 課題の根拠となる資料を使い、課題を解決するマニフェストを話し合おう。

資料番号			

マニフェスト

--

3. 持続可能な税のあり方について、これまでの学習をふまえ考えてみよう。

--

# 中等社会科教育3

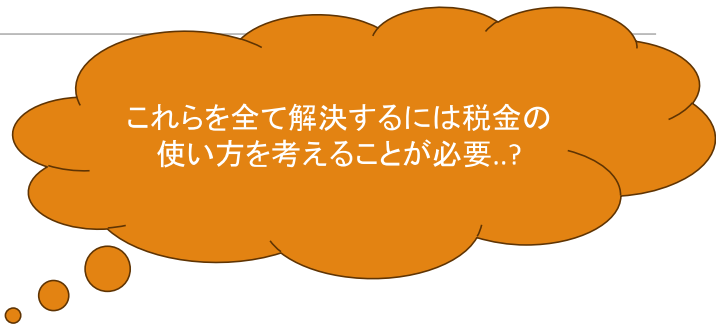
## 8班

---

### 少子高齢化の原因は？

---

- ・ 出生率の低下
- ・ 未婚化
- ・ 晩婚化
- ・ 低賃金



これらを全て解決するには税金の  
使い方を考えることが必要..?

# 今の税金の使い道は？



この現状を変えるために自分たちができることは…

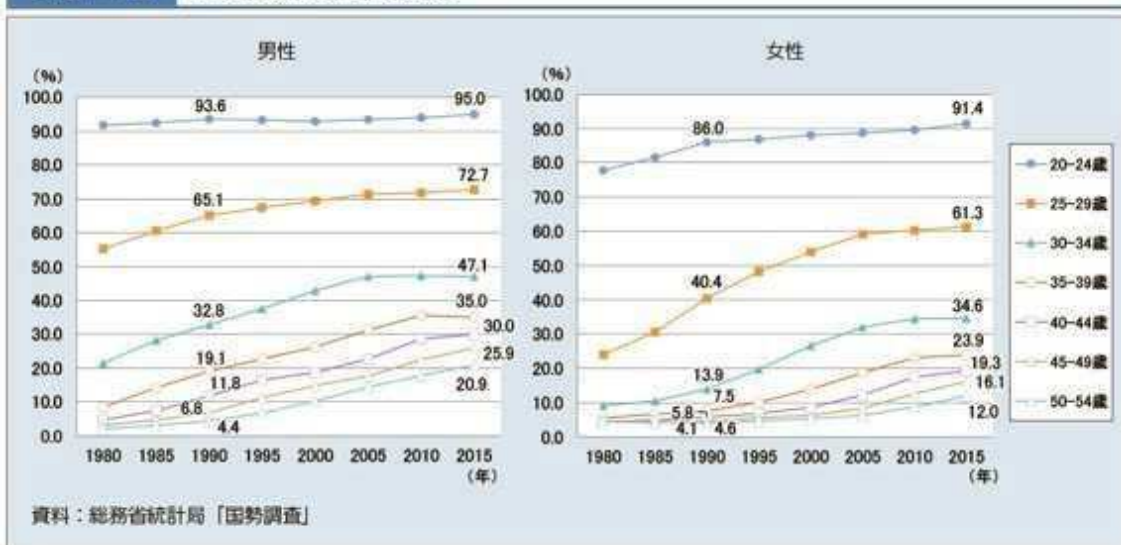
投票率の低下

どのような政党なら投票  
したいと思うだろう。

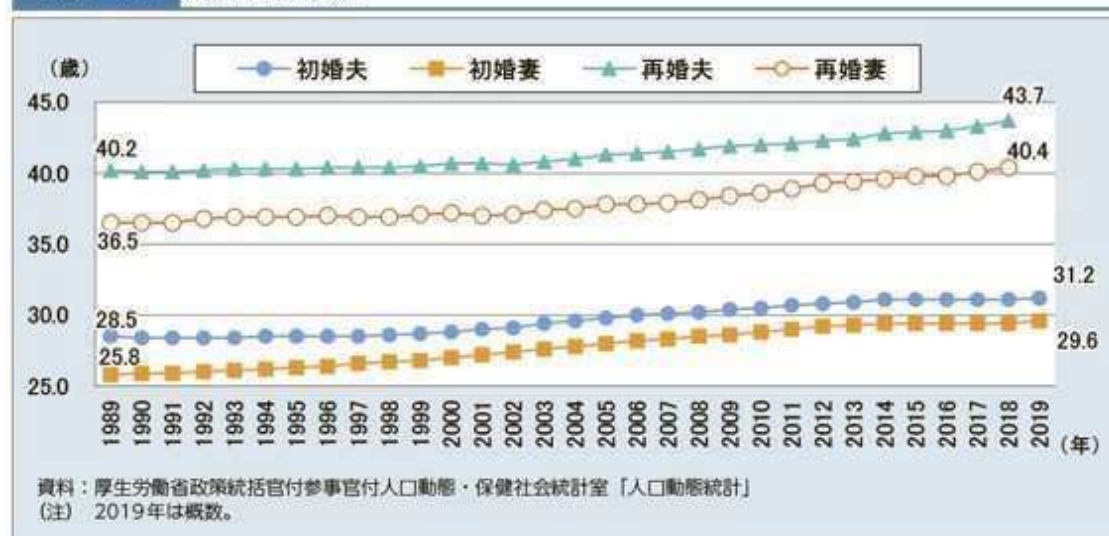
少子高齢化の課題解決に向け、**税や財政**に注目してマニフェストを作る

※本世帯は既婚の故、主母が子供を産むことがなかったアン・ヘットが家中心に生活したものです。

図表 1-1-8 年齢階級別未婚率の推移



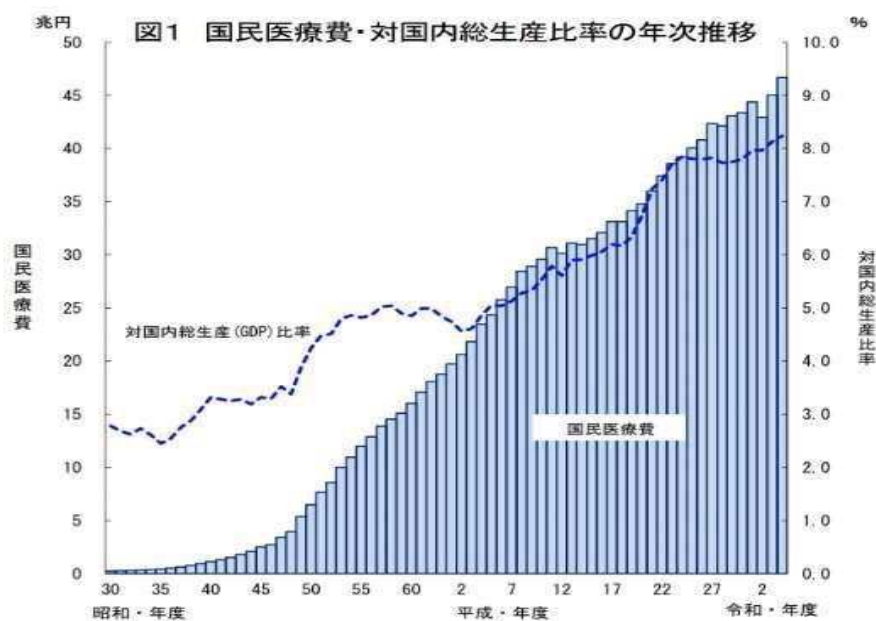
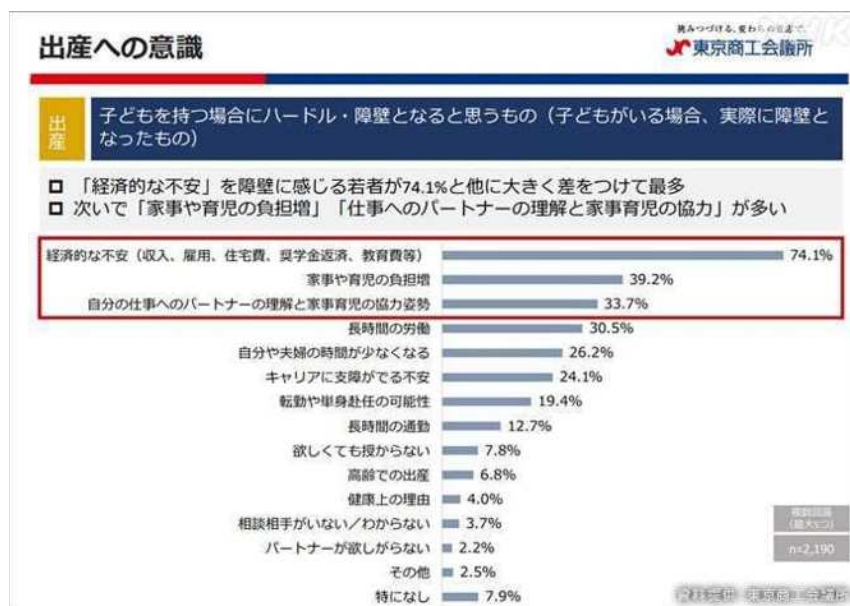
図表 1-1-9 婚姻年齢の推移



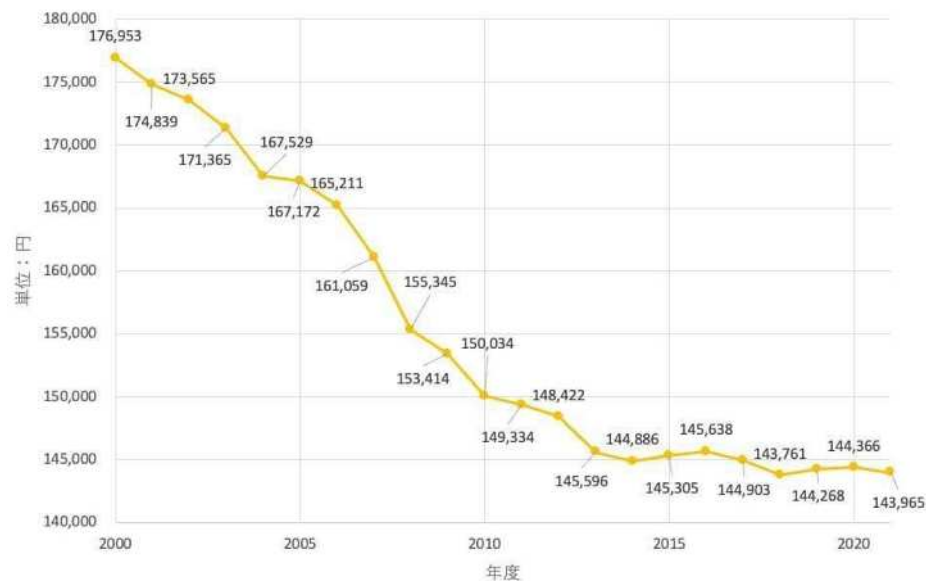


ヒント：年収が低くなることによる子育て世代への影響は？





## 年金不安




## まとめ

- ・ 税金の使い道を工夫する
- ・ 税の負担先を工夫する
- ・ 主権者意識を持ち、立法と行政の動きを知る

## 単元を貫く問い

---

持続可能な税の在り方について、  
私たちはどのように考えたら  
いいだろうか



9班 峯山龍哉 山口咲希 山田優愛 山本宏幸 和田樹

### 中学校 事例3「財政の現状と課題」

○実施学年、教科など

・第3学年／社会科公民分野

○単元の目標

【知識・技能】

財政および租税の意義、国民の納税の義務について理解することができる。

【思考・判断・表現】

対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政および租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとすることができる。

○指導計画

【単元を貫く問い】持続可能な税のあり方について、私たちはどのように考えたら良いだろうか。

第1時 私たちの生活と税の役割

第2時 税の仕組みや種類と私たち

第3時 財政の働き、社会保障と国民の福祉

第4、5時 財政の現状と課題

○本時の目標

- ・税政と選挙の関わりについて、これまでの学びを含めてまとめることができる。
- ・日本の財政の現状と課題を解決するために根拠を持って自分の考えを説明することができる。

### 本時の展開

	主な発問・学習活動・学習内容、生徒の反応	指導上の留意点
導入	1、前時の復習 ・日本の財政の現状と課題について ・それぞれの党の主張について振り返る。 A党（低福祉低負担） ・消費税10% ・国民が治める税金は一律年収30%（累進課税制度無し） ・医療費は5割負担 ・教育費は各家庭全額負担 ・年金制度なし。 B党（高福祉高負担） ・消費税30% ・累進課税制度あり。 ・小学校から大学までの教育費・医療費は無料 ・年金が配られる 2、学習課題の把握	・資料を用いることで、前時に理解できなかった子への振り返りになるようにする。 ・本時の学習課題と単元を

	<p>本時の問い：財政の課題を解決するために私たちにはどのようなことができるのだろうか。</p> <p>単元を貫く問い：持続可能な税のあり方について、私たちはどのように考えたら良いだろうか。</p>	<p>貫く問いは区別して伝える。</p>
展開	<p>3, 選挙を行う。 前回の授業で書いた意見をもとに、投票を行い、開票作業を行う。</p> <p>4, 討論を行う。 それぞれの党に分かれて座り、交互に当てて意見を述べる A党に投票した人の意見 ・自分が働いた分だけお金が入ってくる。 ・買い物しやすい。 B党に投票した人の意見 ・税金は高いが、医療費や教育費が無料で生活がしやすいからです。 ・消費税が高いので、今より税制が安定すると思うから。</p> <p>5, 意見の変更を行う。 意見を聞いて自分自身の意見が変化した人は席を移動をし、このクラスの最終意見とする。また、理由を聞く。 ・私は、最初A党に投票しましたが、○○さんの意見を聞いて、B党に変更します。理由は... ・僕は、意見を変更しません。他の方の意見を聞きましたが、B党の方が○○の面でいいと思い、それを覆す意見が出なかったからです。</p> <p>6, 教師の話を聞く。 実際に財政は私たちが選挙によって間接的に決定している。これから選挙権を持つにあたって、財政政策は投票する政党や候補者を決める決め手の一つになるものである。私たちが投票する際には責任を持って投票しなければならない。</p>	<p>・クラス投票の際に、名前を書かないように指導し、本来の選挙に近づける。 →選挙に関心を持たせるため。</p> <p>・討論の際に、相手を攻撃するような発言や議論と関係ない話をしないように、議論前から注意をする。</p> <p>・ワークシートに相手が言ったことや自分と同じ意見を持つ人の意見を聞いて、自分の意見を強めるもしくは変えるために必要な意見をメモするように伝える。</p> <p>・選挙と税が関わりを持ち、自分たちが税金制度に携わることが出来ることを考えられるような話をする。</p>
まとめ	<p>6, まとめ 単元を貫く問い（持続可能な税のあり方について、私たちは、どのように考えたら良いだろうか）について、自分の考えを書く。 ・私たちの生活を支えている財政を決定するのは私たちが行う選挙であるため、私たちは責任を持って選挙を行う必要があるということがわかった。 ・国の財政は私たちの選挙の結果であるということがわかった。そのため、私たちは財政のあり方やそれぞれの党の考え方を理解した上で投票を行う必要があるということがわかった。</p>	<p>・持続可能な税の在り方について、これまでの資料を用意し子どもたちが何を学んだか思い出せるようにする。</p>

### 3、評価基準

#### 【知識・技能】

財政および租税の意義、国民の納税の義務について理解している。

#### 【思考・判断・表現】

対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政および租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

## 京都教育大学実地教育用学習指導案

## 第3学年社会科学学習指導案

指導者(所属)【所属には〇〇領域専攻などを書く】 〇〇〇〇  
(指導担当教員 〇〇〇〇)

1. 日時 2025年1月9日(木曜) 第2校時(10:30～12:00)

2. 学年・組 第3学年 計40名

3. 場所 第3学年〇組 教室

4. 単元名(または、題材名) B 私たちと経済(2)国民の生活と政府の役割

## 5. 単元(または、題材)の目標

対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにする。

- ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解する。(知識及び技能)
- ・財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現する。(思考力・判断力・表現力等)
- ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題を視野に主体的に社会に関わろうとする。(学びに向かう力、人間性等)

## 7. 単元(または、題材)の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解できる。	財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現できる。	国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

## 8. 指導計画

第1時 私たちの生活と税の役割<事例1>

第2時 税の仕組みや種類と私たち<事例2>

第3時 財政の働き、社会保障と国民の福祉

第4・5時 財政の現状と課題<本時>

## 9. 本時の学習

## ①本時の目標

国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題を視野に主体的に社会に関わろう。(学びに向かう力、人間性等)

## ②本時の展開

○主なる指示・発問

区分	学習活動と内容 (予想される生徒の反応)	指導上の留意点・支援 (教師の活動)	評価規準 評価の観点・方法
【導入】 5分	1. 前時（関連事項）の復習 ・今までの内容が定着しているか確認する。	・既習事項の復習をし、本時の学習内容との関連を知らせる。 ・税の仕組みについてや財政の問題について復習させる。	
【展開 (なか)】 35分	<p>2. グループ(6人×6班)に分かれて提示された資料について考える ＜資料＞ 〔資料1〕日本の税金が何に使われているかのグラフ 〔資料2〕公務員の人件費を表すグラフ 〔資料3〕他国(サウジアラビア・ロシア)の収入源を表すグラフ ・分かっていることと、問われていることを確認し、意見交流を行う</p> <p>3. グループでの意見をまとめる ・読み取れたこと、班で考えたことや意見についてまとめる。 ＜予想される反応＞ 【歳出では社会保障関係費に多く割かれている】 【税金は生活のさまざまな分野で使われており、税金がなくなると現在の生活ができなくなる】 【公務員が280万人もいて、給料は税金によって賄われている】 【税金がなくなると公務員の職がなくなる】 【サウジアラビアでは税収の6割が石油資源である】 【ロシアは資源に恵まれており、化石燃料資源だけで1200億円の収入がある】 【日本にはこのような資源に乏しいためしっかり税金を納めるべき】</p> <p>4. グループごとに発表 ・グループで話し合ったことを全体に共有する。 ・他の班の内容や気づいたことをワークシートに記入する。</p> <p>5. まとめ ・今回の授業で学んだ税金の大切さについてまとめる。</p>	<p>・グループ分けを行う ・各班に資料を提示し、内容や見方について簡単に補足説明を行う ○「分かることは何か？」 ○「読み取れることは何か？」 ○「地理や歴史の知識を使うことができないか？」 ・机間指導し、つまづいている生徒に助言をする。できた生徒には、別の解答を考えさせる。</p> <p>・グループで出てきた意見をまとめる時間になったら指示をする。 ・読み取れたこと、班で考えたことや意見を明確にさせる。 ・特徴ある考えをしている生徒をチェックし、発表の準備をさせる。</p> <p>○「グループごとに考えや意見を発表してもらいます。」 ・教師は生徒の発表内容をまとめながら補足や確認をする。</p> <p>○「では、皆の考えをまとめましょう。どのようなまとめになりますか？」 ・大切なこと、自分の考えをまとめ記入させる。</p>	<p>【資料から読み取れることを正しく理解できている】 【読み取れたことから自分の意見を導き出している】 【友達と意見交流を進んで行っている】</p> <p>【根拠を持って意見を説明できている】 【自分の意見との違いをまとめられている】</p> <p>【税金の大切さについて理解している】</p>
【まとめ (おわり)】 10分	6. ワークシートへの記入 ・これからの税金に対する考え方や意識の変化について書く。 ・次時の連絡を聞く。	<p>・ワークシートへ振り返りを記入させる</p> <p>・次時の連絡をする。</p>	【税金について理解し、以前との認識の変化が書かれている】



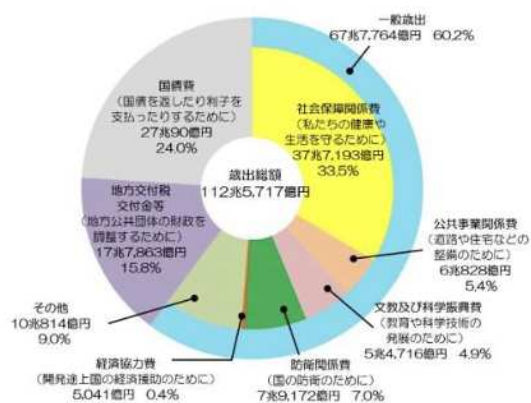
## ③配布資料等

<h2 style="margin: 0;">学びのあしあと</h2> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">           3年（    ）組（    ）番            氏名（                      ）         </div>			
<b>1. はじめに    ～見通しをもって単元の学習に臨もう～</b>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           単元を貫く問い            「持続可能な税の在り方について、私たちはどのように考えたらよいだろうか。」         </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 10px; vertical-align: top;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>現時点の考え</b>            （これまでの学習から、「持続可能な税の在り方」について、どんなことを考えることができるだろうか。）         </div> </td> <td style="width: 50%; padding: 10px; vertical-align: top;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>必要な情報とその情報の入手方法</b> </div> </td> </tr> </table>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>現時点の考え</b>            （これまでの学習から、「持続可能な税の在り方」について、どんなことを考えることができるだろうか。）         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>必要な情報とその情報の入手方法</b> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>現時点の考え</b>            （これまでの学習から、「持続可能な税の在り方」について、どんなことを考えることができるだろうか。）         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>必要な情報とその情報の入手方法</b> </div>		
<b>2. 単元の学習の途中で</b> （単元を貫く問いについて考えたことや友達や先生の話たことで心に残ったものをメモしておこう。）			
<b>3. 単元の学習を終えて</b>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           この単元の自分自身の学習への取り組み（線の上に○を書こう。）         </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <span>よい</span> <span>3</span> <span>2</span> <span>1</span> <span>よくない</span> </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           今後の学習や生活に生かしたいこと         </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           これからも考え続けていきたいこと（それは、社会にとってどのような意義があるか。）         </div>			

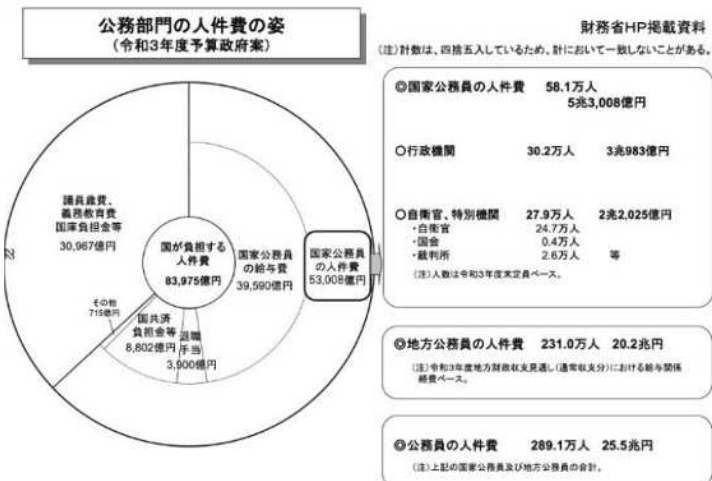
## 財政の現状と課題 ワークシート

年 組 番氏名

## ・資料1



## ・資料2



## ・資料3

Detailed Saudi Arabia Revenue Breakdown for 2024

